

stories

広報 かわねほんちょう



「いっしょにまーす」
いっしょにしゃい😊

昨年発生した土砂災害によって一部区間が不通となり、バスによる代行運転で対応していた井川線。8月12日、無事全線復旧を果たしました。千頭駅で復旧記念式典が開かれた同日、会場には、招待された大勢の親子連れの姿がありました。車掌の「出発進行ー」のかけ声と共に走り出したトロッコ列車。子どもたちは、駅員に向かって満面の笑顔で手を振りました。

Proud!

東日本大震災の復興を支援しよう

Japan

ズーム・アップ

Zoom up

緊急巻頭レポート

災害は忘れる間もなくやってくる
台風12号に伴う豪雨が本町を襲った

人と人がつむぎ出す

絆の貴さ

中学生海外ホームステイ研修

空のムコウ

平成22年度決算

生活の質向上に58億3,109万円

茶産地の威信をかけ、品質を競い合う全国茶品評会

今、再びの日本一に

2011

10

No.72



16日に実施された支援活動の様子。デイサービスを利用するお年寄りを北分遣所の消防士や消防団本部員などが担架を使って崎平地区へと搬送した。迂回路として使っている山道は幅が1㍍くらい。狭いところで50㍍くらいしかない。急勾配な部分もあるため、担架を持つての道行きは困難を極めた。普通に歩くと6、7分で踏破できる山道だが、この日は30分近くかけて、慎重に歩みを進めた。崎平に付くとほっと一安心。ケアマネジャーと笑顔で手を取り合った。現在、生活用品の運び出しはモノレールで実施されている。



—ズーム・アップ—
Zoom up 1

災害は 忘れる間もなく やってくる

台風12号に伴う豪雨が本町を襲った

この写真は、9月16日午前中に撮影した
富沢地区に向かう道路の崩壊現場の様子である
道路部分がごっそり落ちてしまい、
周囲のアスファルトには
何10㍍にもわたって至るところにひびが見える
自動車はおるか、人だつて通行できない状況だ
唯一の生活道路が寸断された富沢地区では
住民が孤立し、不便な生活を強いられている
まずはその状況を、皆さんに知って欲しい

記録的豪雨、被害甚大「台風12号」

紀伊半島に記録的な豪雨をもたらした台風12号は、静岡県内にも多大な影響を及ぼした。静岡気象台によると、12号の接近に伴う雨は、8月31日午前9時の降り始めから5日午後5時までの総雨量で静岡市井川地区で1027㍉、川根本町で813.5㍉という記録的な豪雨となった。

12号の接近に伴う強い雨が降り続いた4日、大井川の水かさは急激に増し始めた。本町では住民の安全を確保するため、河川近くに住む549世帯1519人に避難勧告を発令。対象住民は指定された集会所や小学校に急ぎ向かった。この避難勧告は夜8時ごろには全て解除され、住民はほっとした表情で帰宅した。

今もなお孤立が続く富沢地区

崎平区富沢地区では、集落に向かうための生活道路（林道）が、豪雨の影響により路肩決壊し、通行不能となった。住民7世帯20人が孤立。自動車が通行できる迂回路はなく、住民は幅1㍍ほどの山道を7分ほど歩いて崎平区へ出る以外に方法はない。建設課では災害復旧事業による道路復旧を目指しているが、現場は急な斜面で、現在も崩落の危険があるため、年度内の復旧は困難な見通しとなっている。

同地区では孤立後、水道が止まってしまったが、住民が自ら沢から水を引く急場をしのいだという。現在は水道の仮復旧は完了している。

しかし日用品の買い出しやゴミ出しに苦慮したり、何より急病人が出た場合の対応なども心配された。車で外に出られない生活は、孤立集落にとって何より苦しいものだった。現在、数回にわたって実施されている避難者などの支援活動は、生活用品の運び出しや高齢者の移動補助などが主。消防署、消防団などが富沢地区に出向き対応に当たっている。16日の活動では、消防署3人、消防団本部3人、役場各課などからも数人が出動。崎平区貯水池付近に車を引き急場をしのいだという。現在は水道の仮復旧は完了している。

16日現在、地区外へ避難した世帯は2世帯。今後も時期を見計らいながら順次避難を進めていくという。富沢地区の全住民が、笑顔で帰宅できる日まで、台風12号災害は終わらない。

沢の氾らんを抑制、 山道を整備、簡易浴場… 共助の精神が生きました

崎平区富沢地区班長
桜木孝至さん



富沢地区は迂回路のない行き止まりの集落です。以前から迂回路整備を要望してきましたが、実現にはいたりませんでした。地区内に沢が3、4本あるんですが、今回の災害でそれが増水して土石流となり、ホテルの池やあまごの養殖場に土砂が入り込みました。道路の崩壊は夜に起こったようです。昼間の時点で既に路面が陥没し始めていたので「通行は危険」と判断し、警察に頼んで通行止めにしてもらいました。いつ崩れてもおかしくない状態

だったんですね。人の事故につながらなくて本当に良かったと思います。その日の午後から夜にかけて路肩が決壊し、富沢地区は孤立しました。現在、住民たちは外への避難を始めています。それぞれの事情もありますから、時期を検討しながら進めています。孤立直後から、住民が土砂の除去、簡易浴場の設置、沢から水を引くなど、協力しながらここまで過ごしました。消防や行政などの支援も受けながら、今も災害対応に当たっています。

今、再びの日本一に

茶産地の威信をかけ、品質を競い合う全国茶品評会

本年度は8月23日から26日までの4日間、鹿児島県霧島市で開かれた

普通煎茶10キロの部で川根本町産川根茶が堂々のトップ3を独占

風評に苦しんだこの地域に差した一筋の光明は

川根茶産地の未来を照らす大きな可能性となった

第65回全国茶品評会

目的 日本茶業の将来を展望し、茶業経営の一層の発展を図るため、全国の都道府県で生産された茶の特質を明らかにする。茶の生産近代化と需要拡大を図り、わが国の茶業の発展に資する。

主催 第65回全国お茶まつり実行委員会（鹿児島県、(社)日本茶業中央会、全国茶生産団体連合会、霧島市、(社)鹿児島県茶生産協会、鹿児島県経済農業協同組合連合会、鹿児島県茶商業協同組合、鹿児島県茶業会議所、霧島市茶業振興会、始良・伊佐地区茶業振興会、あいら農業協同組合ほか）

出品数 普通煎茶30^{キロ}95点、普通煎茶10^{キロ}135点、普通煎茶4^{キロ}162点、深蒸し煎茶147点、かぶせ茶68点、玉露104点、てん茶69点、蒸し製玉緑茶111点、釜炒り製玉緑茶86点

審査概評（普通煎茶10^{キロ}） 全国各茶産地より昨年を上回る出品数があった。上位、中位には栽培、製造技術の高さをうかがわせる優品が多く見られた。一方、外観が優れていながら、内質で点数を落とすものも散見された。

表彰 受賞者は11月12日、鹿児島県霧島市（霧島市市民会館）で開かれる「第65回全国お茶まつり鹿児島大会」の式典で表彰される。

再び日本一の栄冠に輝いたつちや農園・土屋鉄郎さん宅の裏に広がる茶園。山肌を切り開いてつくられたその茶園は肥料一つ運ぶのも苦勞するほどの急勾配。それでも鉄郎さんは「この環境は茶作りに適している」と話す。写真は土屋鉄郎さん、清子さん、娘の裕子さんと。

本紙7月号の特集で取り上げたように、東京電力福島第一原子力発電所（福島第一原発）で発生した放射能事故により、川根茶産地は大きな打撃を受けた。調査した結果、放射性物質は安全な数値内に収まっていたものの、世間からの風評は日ごとに増し、落胆してしまう茶農家の声も数多く聞かれた。

「お茶だけでは食べていくことができない」という理由で専業農家が減り、「後継者がいないから」という理由で茶作りから離れる人が増える。そんな、従来からの問題を抱えるこの地域にとって、放射能汚染という脅威は、暗いムードに拍車をかけるような出来事だった。

しかし今回、そんな暗い雰囲気を一気に吹き飛ばし、見事、再び「日本一」に輝いた川根茶。高品質な山のお茶というイメージ戦略を掲げる川根茶産地にとって、また、誇りと情熱を注ぎ続ける茶農家たちにとって、この上ない喜びをもたらす話題となったことだろう。

本号ズームアップ2では、本品評会などの入賞者に直撃インタビュー。受賞の喜び、茶業にかける思いなど、あますことなく語ってもらった。

日本一という大きな名誉。これから川根茶産地は、この称号をどのように生かしていくべきだろう。

日本茶業の将来を展望し、茶業経営の一層の発展を図るために開催される第65回全国茶品評会の審査会は8月23から26日までの4日間、かごしま茶流通センターおよび鹿児島県市町村自治会館で開かれた。今年の品評会には18都府県から977点（県内115点）が出品され、4日間にわたり厳正な審査が実施された。その結果は26日発表され、普通煎茶10^{キロ}の部でつちや農園・土屋鉄郎さん（水川）、丹野園・丹野浩之さん（水川）が最高位の農林水産大臣賞を獲得。同部3位に当たる一等三席には高田農園・高田智祥さん（藤川）が入賞し、1位から3位を本町産川根茶が独占するという快挙を成し遂げた。成績優秀な市町村に贈られる「産地賞」についても、普通煎茶10^{キロ}の部で、本町が3年ぶりの栄冠を手

風評を乗り越え、
今、明るいきざし
「日本一」の称号が
これからの川根茶産地に
もたらすものは
何なのだろう

土屋鉄郎の情熱

つちや農園（水川）

誰も予想しなかった日本一

「まさか？」

これが、受賞の知らせを聞いたときの自分の率直な感想でした。しかも上位3位までを川根茶が独占（普通煎茶10^{キロ}）したと聞き、喜びがこみ上げてきました。鹿児島県開催の全品で、このような好成績を上げられるなんて、誰も予想していなかったのではないのでしょうか。暗いニュースが多い中で、一つ明るいニュースになりました。川根本町を元氣付けるきっかけになればと思っています。

昨年の凍霜害に始まり、今年も摘採期が遅くなるなど心配な面もありましたが、それでも茶の生育は良く、摘採日も天候に恵まれました。摘採に協力してくれた人が「すごく摘みやすかったですよ」と言ってくれましたから、最良のタイミングで摘採できたかなという手応えもありました。摘採にご協力いただいた人、技術指導をしてくれた人、製造に携わってくれた人、日程などを調整してくれた人；そんな多くの人の助けや家族の支えがあったからこそその受賞です。感謝は尽きません。

今回の好成績をきっかけにして、もつともつと全品に挑戦したいという若者が増えてくれるとうれしいですね。

1回でも多く茶園に足を運ぶ

お茶というのは、肥料にしろ農薬にしろ、ちゃんと指導を受けて、費用をかければ、ある程度良いものはできます。計算できる部分も多くなります。しかしどんなに計算しても、年ごとに違う気象条件やその時期の天候具合までは計算できません。今、私が最も大切にしていることは「人が2回茶園に足を運ぶとしたら、自分は3回4回と茶園に足を運ぶ」。つまり、どれだけ足しげく茶園に通えるかということです。

これは、私が仲間と茶作りに切磋琢磨していた若い時分、丹野円一郎さん（故人）から教わった言葉です。あれから何十年と経ちましたが、今も私の耳から離れません。

人間だって、腹は減るしものも渴きます。疲れたら甘いものが欲しくなるし、栄養補給だって必要です。お茶も同じ、生き物なんです。1回でも多く茶園に足を運び、良く観察する。そうすることで茶の木の状態が分かってきます。少し水が足りないんじゃないか、肥料が必要なんじゃないかというように見えてくるんですね。甫場ごと土の成分も違うし、その年の気候も違いますから、茶園管理のタイミングはその都度変わります。だからこそ、何度でも何度でも茶園に通い、よく観察することが大切なんです。

朝5時に起きて茶園に入ると本当にすがすがしい気持ちになります。季節の変化を五感で感じる事ができます。農業の大きな魅力だと思います。茶作りをやっている良かったなあと、茶園に入るたびに実感しているんです。

自然を生かした茶作りを

厳しい茶況が続いています。茶園を手放す人も増えてきました。他の茶産地よりも一番茶の出荷が遅いという不利な面もあり、この産地が抱える問題が多いのが現状です。

だからこそ、付加価値を付けて売る努力が必要です。それが「高品質な川根茶」というイメージ戦略であり、品評会での評価が「高品質の証明」につながるんです。

お客さんの中には「この土地をぜひ見てみたかった」と、わざわざ埼玉県や神奈川県から訪ねてくる人もいます。

うちの茶園を見て「こんな大自然の中で作られているからおいしいんですね。私は川根茶しか飲みません」と言ってくれるんですね。そんな出会いが励みになるし、言葉の一つ一つをありがたく感じています。そういうお客さんが、まだまだたくさんいるんですね。

これからも、この土地の性質や気象条件に学びながら、自然環境を最大限生かした茶作りにこだわっていきたいと思っています。

土屋鉄郎さん・清子さん夫妻 自宅前茶園にて

普段から心がけているのは「1回でも多く茶園に足を運ぶ」ということ
すると茶の木が求めているものが分かるようになる
自然を生かした茶作りに、こだわり続けた



丹野浩之さん・千春さん夫妻 自宅前茶園にて

第65回全国茶品評会普通煎茶10^{キロ}の部 1等2席・農林水産大臣賞受賞

丹野浩之の 使命

丹野園（水川）

チーム川根本町の快挙

平成15年の初受賞以来、2度目の農林水産大臣賞。「うれし」と同時に、とても驚いている」というのが正直なところ。まさか2度目があるとは思っていませんでした。今回に限らず、全国茶品評会の出品には多くの時間と労力が必要になります。特に個人農家では困難なことも多い。摘採を短期間で終えるという離れ業は、個人では不可能に近いと思います。

今年の摘採には、2日間です。100人、その後の工程も含め、のべ140人もの人が協

います。

力してくれました。県や町の関係課の皆さんをはじめ、JAのおおいがわの皆さん、摘採などにご協力いただいた町民の皆さん：言ってみれば「チーム川根本町」が丸となつて勝ち取った農林水産大臣賞だと思っています。私も産地賞に貢献できたことを非常にうれしく思っています。

さまざまな要因がうまく具合に重なり合いました。摘採日の天候や新芽の生育状況。うまく摘むことができた。うまく採むことができた。全てのタイミングが合い、100%ではなく120%の状態を生み出すことができたんだと思

はみんな素晴らしいものです。それぞれ情熱を注ぎ、努力して茶作りをしている人ばかりそんな中で、本町から最高賞の農林水産大臣賞を出すことができました。これはとても大きなことです。努力すれば、上位入賞はできるかもしれない。でもその中でも、抜きん出るものがないと大臣賞には結びつかないですね。その差は、ほんのちよつとかもしれませんが、明確な差でもあるんです。それが100%プラスアルファの部分。神がかり的な部分と言えるかもしれません。

祖父、父が果たせなかった

夢を自分がつかむことができた。旧水川農事研究会時代を含め、この地域は優秀な茶農家を排出してきました。その偉大な先輩たちに肩を並べたとは言えませんが、それでも一つの形にはなつた気がしています。

かゆいところに手が届く

これまで私は「お茶は生き物である」という思いで茶作りをしてきました。モットーは「かゆいところに手が届く茶作り」。茶は声を出すことができませんが、私自身が気付いてあげる必要があります。お茶は今、何をしたら喜ぶのか、どうして欲しいのかを常に考えています。だから1年中、休みなんてありません。良い新芽は人間でいう元気な赤ちゃん。そんな気持ちで常に持ち続けて、茶と向き合っています。

川根茶産地のこれから

風評被害の影響も色濃く残る川根茶産地。これから未来を考えたとき、1グラムでも多く「川根茶」が消費者の元に届く努力をしていかないといいけません。今年のお茶は放射能という問題が出てしまいましたが、出来だけを考えたら、

例年以上においしいお茶ができました。まずは地元の方々に飲んでほしいと思います。贈答などにも積極的に使ってほしいですね。そうやって、停滞ムードが広がる川根茶産地を、少しでも活気づけていきたいらと思います。

川根茶は、再び「産地賞・農林水産大臣賞」という日本一の称号を得ることができました。そのこと自体も一つの目標ではありますが、でも最終的には、「川根茶はいつも在庫が足りない」と言われるくらい売れることが一番の目標なんです。

これからの時代、農家だけではなく、行政、農協などの団体や町の皆さん、商工業、観光業など他分野の人たちとも連携して、川根茶産地を盛り上げていく方法を模索する必要があります。

私は49歳。茶業界ではまだまだ若造の部類です。今回の受賞におごることなく、先輩たちの思いを受け継ぎ、この地域の伝統を守り、より良い川根茶を作ることに情熱を注いでいきたい。川根茶産地の未来を考えたい。

それが、私たち茶農家にできる「最大の使命」だと思います。

もう一つの【農林水産大臣賞】

第39回関東ブロック茶の共進会普通煎茶の部
優秀賞・農林水産大臣賞受賞（申請手続き中）

相藤直紀の 信念

相藤農園（藤川）



相藤直紀さん 自宅近くの茶園にて

茶作りに頂上無し。それが相藤農園に受け継がれる誇り

多くの支えがあるからこそ

大きな品評会では初の1位を受賞することができました。これまで先輩方に教えていただいたながら、関係者に支えられながら、お茶摘みさんにも助けられながらここまでやってきました。皆さんの協力で改めて感謝しています。毎年来てくれるお茶摘みさんの中には、50年間通い続けてくれるおばあちゃんもいます。こちらから何も言わなくても、ベストな摘み方をしてくれる。本当にありがたいことです。相藤農園では、自宅の茶工場で製造した茶を品評会に出品しています。品評会に挑戦しながら、「栽培技術」と「製造技術」を向上していきたいと考えているからです。自分自身、毎年同じように作っていても、決して同じ茶はできません。葉の生育状況が違えば採み方も変わります。どんなに機械化が進んでも、最後は人の手の感覚というのが一番大事なんだと思います。製造技術は、うちのようない個人工場では何より大事なことです。相藤農園では代々そうやってきました。ゆずれないこだわりであり、ちよつとした誇りでもあるんです。

今回、関東ブロックに出品し

た茶は生育が良く、採んだ感触も、香りも良い出来栄でした。結果として1位という高い評価をいただいた訳ですが、それでも反省点はあります。なかなか納得のいくものには出合えませんが、仮に今年良い茶ができたとしても、来年にはもっと良いものを作りたいと思っています。やれるうちは自分たちで製造もやっていきたいし、常に品質の向上を求めていると考えています。

永世名人だった祖父（良雄さん）が信条としていた言葉に「茶作りに頂上無し」というのがあります。どれだけ一生懸命茶を作っても、「これで満足」というものはありません。毎年毎年、積み重ねていくしかないんです。全国茶品評会の手採み部門で7度日本一を受賞した祖父の言葉だからこそ重みがあるし、自分自身が最も大切にしている信念でもあります。

個人工場は大きな茶工場と比べて不利な面はたくさんあります。でも、ここからできることもあります。先代の意思を受け継ぎ、常により良い茶作りを目指したい。毎年精いっぱいやってみて、反省し、また始める。品質向上のための試行錯誤は、相藤農園の伝統です。

第65回全国茶品評会普通煎茶10キ口の部
1等3席・生産局長賞受賞

高田智祥の 挑戦

高田農園（藤川）



高田智祥さん 自宅近くの茶園にて

無農薬や商品開発。全てはお客さんの喜ぶ顔が見たいから

全てがうまくかみ合った結果

今回の受賞は自分自身が一番驚いています。それでも今年はそれなりのお茶ができたという、手応えみたいなものもありました。摘採日は天候が悪かったんですが、それでも雨が降り出す前にほとんど摘み終えることができましたから、運もあつたのかなと思っています。

全品の審査には3つの条件があると言われています。①摘採（予定通り順調に摘むことができたか）②製造（うまく揉めたか）③審査（審査員の好みなどにも要因に）。この3つの条件をうまく乗り越えないと好成績にはつながらないんです。だから自分では「今年の茶はうまくできたな」と思っているけど、全然評価されない年もあります。そういった意味で、今年の審査では、全ての条件がうまく具合にかみ合った結果が出たのではないかなと思っています。

うちでは、出品する畑だからといって、何か特別な管理をするわけではありません。被覆くらいかな。基本的にどの茶園も同じだけ手間をかけます。品評会というのは、あくまで「お客さんにおいしいと思ってもらえる茶」を作りたいんです。

高田農園は全て無農薬栽培です。減農薬から始めて、ここ5年間は完全無農薬になりました。きつかけは紅茶を作り始めたからですが、この無農薬栽培の茶でも入賞することができたというところに価値があります。とても大きな励みになりました。

無農薬栽培は、収穫は減るし、手間はかかる。確かにデメリットはあります。でも最近では、茶の木自体が強くなってきたような気がします。お茶本来の香りが戻ってきているようにも感じています。

川根茶の可能性を探りたい

風評被害を乗り越え、川根茶産地がこれからも生き残っていくためには、先入観にとらわれず、さまざまな可能性に挑戦していくことが必要だと思います。高田農園では、緑茶、紅茶、ウーロン茶など、ここ数年で商品数は数倍になりました。茶業関係者から情報を集め、消費者のニーズを知り、新たな商品を開発する。そうやって挑戦を繰り返していく。無農薬栽培もその一つなんです。

お客さんが求める、喜ぶ、そんな茶作りをしていきたい。川根茶が持つ可能性を、これから探り続けます。

人と人がつむぎ出す、

絆の貴さ

今年の夏ほど「絆」の貴さを実感した年はないだろう。人と人がつながること、町が動き出す：：活気が生まれ、にぎわいが生まれる。みんなの心をつむいだ「夏の絆」の数々をレポート

8月12日

井川線復旧

会場 千頭駅ホーム

井川線が観光シーズンを前に全線復旧 秋からの集客に大きな期待寄せる

夏休みシーズンだった中の8月12日、約1年間にわたって一部区間が不通となっていた井川線が全線復旧を果たしました。同日、千頭駅ホームでは復旧を記念した式典が開かれ、多くの人が喜びを分かち合いました



多くの「おめでとう」が 寄せられた記念式典

昨年8月28日に発生した土砂災害によって一部区間が不通となり、千頭―奥泉間がバスによる代行運転を続けていた大井川鐵道井川線。このほど復旧工事が完了し、全線運行を再開しました。同日、この全線復旧を記念した式典が大井川鐵

道千頭駅ホームで開かれ、関係者、来賓、招待された親子連れなどが顔をそろえ、喜びを分かち合いました。午前8時から始まった式典では、大井川鐵道株式会 社伊藤秀生社長のあいさつに始まり、来賓から一言ずつ運転再開を祝した「おめでとう」のメッセージが寄せられました。

来賓として招かれた佐藤



1 全線再開を祝したテープカット 2 両国車両部の作業員に感謝状が贈られた 3 記念列車に乗り込む招待客 4 発車を待ちわびる笑顔の子



3 伊藤秀生代表取締役社長 4 招待客が乗る列車

なければなりません。今後も安全対策には最大限配慮し、大井川鐵道固有の資源である「SL」「トロッコ列車」の魅力を大に発信し、地域観光振興に役立てていきたいと考えています。



大井川鐵道株式会社
伊藤秀生代表取締役社長

安全に最大限配慮。地域の観光振興に役立てていきたい

昨年発生した土砂災害によって通行不能となった一部区間について、多くの各関係機関のご協力により、無事災害復旧工事が完了。晴れて全線再開の日を迎えることができました。これまで千頭―奥泉間は、バスによる代行運転によって観光客や地元住民の足を確保してきましたが、乗り換えの負担はどうしても避けられないものでした。今後、奥大井の魅力をストレスなく提供できることとなり大変喜ばしく思っています。井川線は、沿線の自然景観を楽しんでいただく観光路線ですが、その分、自然の驚異とも歩調を合わせ

贈りました。

この日に併せて初のお目見えとなった車輛「スロフ317号客車」を製作した両国車輛部の作業員たちには、伊藤秀生社長から感謝状が贈られました。

※井川線トロッコ列車の車輛は、一般的な列車より小さな車体のため、手作りで製作されています。

8時55分を迎えると、トロッコ列車は大きな汽笛を一発。ホームに残ったキャラクターとブルルに見送られ、子どもたちのたくさんの笑顔

を乗せて、終点井川駅へと走り出しました。

式典の最後には、伊藤秀生社長、佐藤公敏町長、中部電力大井川電力センター

金原俊也所長、招待された子ども代表の山下裕翔くん、石川想大くんの5人によってテープカットがなされ、出席者全員の大きな拍手で再開を祝いました。

式典終了後には、この日朝8時55分に出発するトロッコ列車に、全線再開を記念したヘッドマークが掲げられました。

8時55分が近づくと、場内にアナウンスが流れました。「ご利用ありがとうございます。この列車は5両編成の井川行き。各駅に止まります。終点井川駅には10時41分に到着します。皆さまご乗車ください」。招待された親子連れ、来賓、関係者と続いて列車に乗り込みました。

8時55分を迎えると、トロッコ列車は大きな汽笛を一発。ホームに残ったキャラクターとブルルに見送られ、子どもたちのたくさんの笑顔

を乗せて、終点井川駅へと走り出しました。

8月14日

プチ盆踊り

会場 千頭駅前広場

お盆は浴衣でにぎわおう 千頭駅前でプチ盆踊りを

お盆に浴衣で集まれる場所をつくりたい
そんなお母さんたちの思いから始まった「プチ盆踊り」
駅前に響き渡る太鼓の音のように、地域に輪が広がりつつあります

盆踊りでにぎわいを創出

8月14日の午後5時過ぎ、音戯の郷駐車場に車を止めると、千頭駅前広場から楽しげな祭りばやしと太鼓の音が聞こえてきました。会場では、急ピッチでプチ盆踊りの準備が進められています。今年は会場の中心に小さなやぐらが登場。祭りムードをさらに盛り上げていました。

毎年同日に開かれているこの祭り。千頭駅周辺のお母さんたちが発案し、段々と地域の人たちを巻き込みながら広がり続け、今回で5回目を迎えました。

「お盆なんだから、みんなワイワイ集まって、浴衣姿で盆踊りを楽しみたい。帰省した人を連れて行ける場所をつくりたかった」という実行委員会の思いは、少しずつ地域に浸透しつつあります。

午後6時半、中原康夫さんがたたく太鼓の音が、祭りの始まりを告げます。続けざまに流れ出す盆踊りの曲。つられるように続々と

集まり出す人たち。千頭駅に降り立つ観光客も、近所の住民たちも、自然に会場へと足が向いていました。

この盆踊りは飛び入り参加大歓迎。Tシャツ姿の若者も、小さな浴衣姿の女の子も、じんべえ姿のお父さんも、一緒になってやぐらを囲みます。最初は見ているだけだった人も、いつの間にか踊りの輪の中に。盆踊りは、やつぱり大勢でやるから楽しいんです。

会場内では、フランクフルト、たこ焼き、かき氷のほか、金魚すくいなども人気を集めていました。

やつぱり夏には浴衣と盆踊りが良く似合います。この小さな祭りが、地域の活気に、元気になっていきますように…。



8月13日

やっちゃん祭

会場 高郷河川敷

ステージパフォーマンスに歓声 5年目を迎えたやっちゃん祭

昼間の豪雨がうそのように晴れ上がった8月13日の夕方5時過ぎ、有志の思いが結実した「やっちゃん祭」は今年5年目を迎えました。パフォーマンス、赤石太鼓、手筒花火などの演目に来場者は心を躍らせました

祭りがあるから帰省しよう

地域の新たな絆を生み出し続けるやっちゃん祭第5回は8月13日、高郷河川敷で開かれました。

実行委員の前田孝一さんは「昼間の雨にはまいりました。降り続けば順延も考えられただけに、開催できてうれし。ステージパフォーマンスの出演者たちは、明日は来られないからね。準備は大変だったけれど、みんなが来てくれて本当に良かった」と、胸をなで下ろしました。

午後6時過ぎ。ステージに川根高校郷土芸能部が登場。迫力ある赤石太鼓の演奏が祭りの始まりを告げます。子どもたち、若者たち、おじいちゃんもおばあちゃんも…。

世代に関係なく続々と人が集まり出します。空が暗くなる頃には、人だかりになり、人だかりになりました。

やっちゃん祭のオリジナル曲「踊らにやっちゃん」が響くと、子どもも大人も輪になって盆踊りを楽しみました。

ステージでは、フリースタイルフットボールチームによる数々の技が披露されました。

祭りのフィナーレは手筒

花火。煙火保存会会員による手筒の炎が天空を焦がすと、その場にいる来場者全員が息をのんでいました。

昨年より協力者が増えていました。ステージと観客席の距離が近づいていました。年々進化を続けるこの祭り。帰省した人も、地元の人、祭りの一体感に心を躍らせました。

東北を支援する募金活動報告

震災直後に夏祭り実行委員会から町社会福祉協議会を通じて5万円を、そして今回の夏祭りにご参加いただいた皆さんからの義援金9,817円と実行委員会から10,183円をプラスして2万円を福島県の災害対策本部へ送金いたしました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

千頭駅前広場には、地域の人や観光客など、大勢の人が立ち寄り、にぎわいを生んでいた。最初は参加者が少なかった盆踊りも、いつの間にか大きな輪になっていた。

8月15日

徳山の盆踊

会場 徳山浅間神社

古来から受け継がれる舞

昭和62年12月28日、国指定重要無形民俗文化財に指定された「徳山の盆踊」。

町内外に多くのファンを持つ徳山伝統の祭典です。この祭りの仕切りは、持ち回りで当番組が受け持つほか、区の交通部、文化部、寿会なども役割の一端を担っており、文字通り、地域をあげての祭りとなっています。

祭典当日の8月15日夕方、昼間降った雨の影響もなく、予定通り祭典が始まりました。道行きから帰った鹿ん舞一行が神社に姿を見せると、今か今かと待ち構えていた来場者たちが、舞台の周りで歓声を上げました。



石垣に腰かける人、立つまま見つめる人、肩車される子……。どの顔にも笑顔があふれていました。「そーりやあ、うん、はい」のかけ声と共に、舞台の回りを勢いよく駆け回る鹿ん

舞。それに守られるかのよう、舞台上では巫女姿の女の子が優雅にヒーヤイを舞い、おごそかな雰囲気です。狂言が執り行われます。会場からは、割れんばかりの拍手と歓声が、いつまでも響いていました。

会場を訪れた来場者は「鹿ん舞いを見たのは小学生のとき以来。やつぱり迫力と元気があっていいですね」と話しました。

大人が子どもに教えるのは踊り方だけではありません。地域に伝えられてきた伝統、誇り、そして絆。そんな姿勢や気持ちも一緒に教えているのです。地域が一体となって受け継がれていく古典芸能。それが徳山の盆踊なのです。

地域の誇りを受け継ぐ祭典 徳山の盆踊に古色ゆかしい伝統を見る

国指定重要無形民俗文化財に指定される徳山の盆踊。いわば国の宝でもあるこの祭典は毎年8月15日に執り行われます。鹿ん舞、ヒーヤイ、狂言が、今年も来場者を魅了しました。

人と人がつむいだ絆が 町の活気となってゆく

昨年発生した土砂災害によって、一部区間が不通となっていた井川線。その再開は、本町にとって何よりうれしいニュースとなりました。迫力あるSLと可愛らしいトロッコ列車は大井川鐵道の代名詞。イコール町の貴重な観光資源です。これから

交流という新たな絆に期待

「寸又峡を訪れた人にもっと自然を身近に感じてもらいたい」という地元住民の願いが結実したこの公園。山から水を引いた池に棧橋が整備され、家族連れなどが気軽に周遊できるようになっています。周辺にはカエデなどが植栽され、新緑や紅葉を楽しむこともできます。

右下の写真はお盆過ぎの同公園。何組かの観光客が夢の吊り橋への帰り道に立ち寄り、池の棧橋を歩きながら周囲の景色を楽しんでいました。寸又峡温泉の新たな観光スポットとして、関係者は期待を寄せています。

キーワードは「お盆過ぎ」

寸又峡温泉美女づくりの湯事業協同組合が整備を進めていた親水公園「草履石公園」がこのほどオープンしました。温泉街の一番奥、夢の吊り橋に通じるプロムナードコースの入口付近に位置し、面積は3300平方mを誇ります。

絆を生み出す場所「祭り」

お盆の時期に開催されたやっちやう祭とプチ盆踊りは、本町の夏の風物詩として今年も盛り上がりを見せました。その昔、豊作・豊漁を神に祈り、感謝の気持ちさをさげた「祭り」。どれだけ時代が過ぎようとも、人々の絆と活気を生み出すことに変わりはありません。

祭典当日を最高のものにするために、何カ月も前から準備を重ねる人たちがいます。当日の舞台裏を支える人たちがいます。スタッフ、観客とが一体となって楽しむ、一緒に盛り上がる。地域が一つになっていく。人間関係が希薄になったと言われる現代にあつて、この「絆」こそ祭りの一番の魅力なのかもしれません。

東日本大震災によって、今再び「絆」の貴さが見直されつつあります。人と人がつながること、生まれる力。これからの本町を元氣付ける「活力」です。

徳山の盆踊は鹿ん舞、ヒーヤイ、狂言の3部構成。その昔、畑の作物を荒らす鹿などを追い払い、豊作を祈ったのが起源とされる。現在では、舞台上で踊るヒーヤイなどを警護する役割へと変化してきている。





ーズーム・アップー

Zoom up 4

平成22年度決算
生活の質向上を中心に

58億3,109万円を使いました

行政改革集中改革プランによる経費節減、各種補助金、過疎対策事業債など有利な財源を活用し「持続可能」な経営を目指してきました。特に近年は、国の地域活性化交付金を活用し、住環境整備、簡易水道の整備および健康・福祉サービスの充実など住みやすい環境づくりのための事業の展開を推進しています。

平成22年度決算状況

一般会計と7つの特別会計の1年間の決算は、歳入総額が88億5,488万円、歳出総額が82億7,554万円となりました。一般会計では歳入総額62億7,968万円、歳出総額58億3,109万円、差引残額4億4,859万円となりました。

国庫補助金、過疎対策事業債など有利な財源を活用し「持続可能」な経営を目指すとともに、地域活性化交付金を活用した住環境整備、予防接種助成など健康・福祉サービスの充実を重点とした「安心して暮らせる環境整備」に努めました。

一般会計歳入総額は62億7,968万円

歳入総額は、前年度対比3・5割減の62億7,968万円、自主財源が22億8,501万円【+5億1,646万円】36・4割、依存財源が39億9,467万円【△7億4,435万円】63・6割となり

ました。

自主財源の内訳では、町税は個人納税者数の減少による減収はあるものの、法人税の増収により13億7,538万円【+2,013万円】で歳入全体の21・9割となりました。繰越金は平成21年度に臨時財政対策債を満額借り入れたことにより6億7,230万円【+5億132万円】で10・7割となりました。

依存財源の内訳として地方交付税は、普通交付税の増加により27億4,235万円【+1億3,687万円】で43・7割となりました。国庫支出金は、国の経済対策により措置された地域活性化交付金や定額給付金などの減少により5億4,546万円【△2億9,579万円】で8・7割、県支出金は、緊急雇用対策事業、災害復旧事業の増加はありますが、菌床しいたけ栽培施設整備事業の完了などにより3億9,558万円【△2億5,232万円】で6・3割となりました。

一方町債は、繰越金の増加などにより借入れを抑えたため6,740万円【△3億8,016万円】で1・1割となりました。

一般会計歳出総額は58億3,109万円

歳出総額は、前年度対比0・1割減の58億3,109万円です。限られた財源の中、行政改革集中改革プランによ

により借り入れを抑えたため6,740万円【△3億8,016万円】で1・1割となりました。

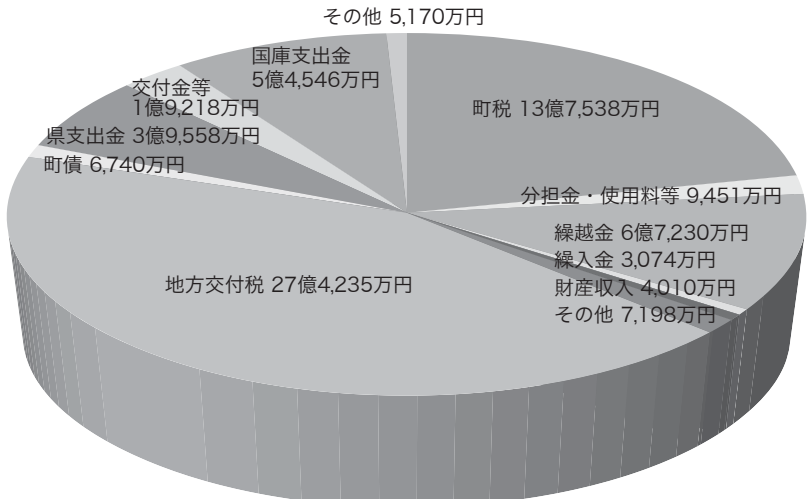
自主財源の構成比率は36・4割（前年27・2割）、地方交付税、国・県支出金、町債などの依存財源が63・6割（前年72・8割）で、繰越金の増加で自主財源比率が伸びましたが、これは一過性のものであり、依存財源に頼っている状況は変わりません。

なお町民1人当たりの歳入総額は、約74万7千円で前年度に比べ1万2千円の減額となり、このうち町税の町民1人当たりの歳入額は約16万4千円で、前年度に比べ6千円の増額となりました。

※町税の中には、長島ダムなどの国有資産交付金が含まれています。

町が仕事をするために必要な経費をまかなうもの。川根本町の会計年度における一切の収入のことをいう。町税、地方交付税、町債、国庫支出金、繰入金など
自主財源▷22億8,501万円 36.4%
依存財源▷39億9,467万円 63.6%

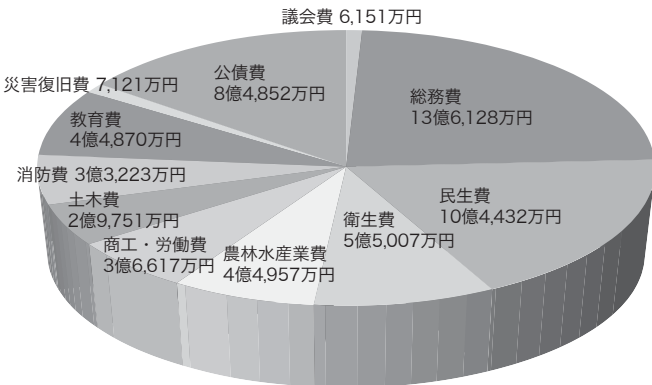
一般会計歳入総額62億7,968万円



一般会計歳出性質別▲58億3,109万円

町の経理を性質別に分類したもの。義務的経費（人件費、扶助費、公債費）を含む、経常的経費（物件費、維持補修費など）、投資的経費（道路や公共施設の建設費など行政水準の向上のための経費）、その他（一般会計と特別会計との間で相互に資金運用するための繰入金）に分類される。

経常的経費▷39億6,662万円 68.0%
その他経費▷9億9,738万円 17.1%
投資的経費▷8億6,709万円 14.9%
計▷58億3,109万円 100.0%



一般会計歳出目的別▲58億3,109万円

町が実施する事業を目的別に分類した。行政サービスの水準や、行政の特色などが反映されている。議会費、総務費、民生費、衛生費、農林水産業費、商工労働費、教育費、土木費、公債費など

一人当たりの税額	
町民税	45,809円
固定資産税	111,418円
軽自動車税	2,433円
町たばこ税	3,179円
入湯税	799円
合計	163,638円

一般会計決算額を平成23年3月31日現在の人口8,405人で割った額です

一人当たりの決算額			
議会費	7,318円	土木費	35,397円
総務費	161,961円	消防費	39,527円
民生費	124,250円	教育費	53,385円
衛生費	65,446円	災害復旧費	8,472円
商工労働費	43,565円	公債費	100,954円
農林水産業費	53,489円	合計	693,764円

る経費節減や各種補助金、過疎対策事業債など有利な財源を活用し「持続可能」な経営を目指してきました。特に近年は、国の地域活性化交付金を活用し、住環境整備、簡易水道の整備および健康・福祉サービスの充実など、住みやすい環境づくりを推進しています。

歳出【目的別】の説明

自治振興、町営バスの運行などの地域振興、次年度以降の事業実施のための財政調整基金への積み立てを実施した総務費が23・3割を占めています。続いて外出支援サービスや国民健康保険事業会計などへの繰入金、子ども手当、子育て支援事業などの民生費が17・9割、各種検診事業など健康増進事業による町民の皆さんの健康管理、ごみ・し尿処理などの生活環境経費としての衛生費9・4割、茶業振興対策、林業振興、農村環境基盤整備などの農林水産業費が7・7割、小中学校・生涯学習の教育振興などの教育費が7・7割となっています。

歳出【性質別】の説明

人件費・扶助費・公債費の義務的経費は、前年度対比2・9割減となる23億782万円【△6,992万円】で構成比は39・6割となりました。

子ども手当などにより扶助費は増加しましたが、職員数の減少や期末勤勉手当支給率の減少により人件費が減少となったこと、平成9年度に借り入れた地域総合整備事業債（音戯の郷整備）、過疎対策事業債の償還が完了したことにより、公債費が大幅に減少したことが、義務的経費減少の大きな要因です。

物件費は、緊急雇用創出対策事業の増加、業務の外部発注の実施により前年度対比3・3割増の9億3,331万円【+2,954万円】で構成比は16・0割となりました。普通建設費は前年度対比31・0割減の7億9,588万円【△3億5,832万円】で全体の13・7割となりました。これは森林・林業交付金事業の菌床しいたけ栽培施設整備の完了、国の補正予算による地域活性化交付金事業の減少が大きき要因です。

積立金は、前年度対比606・6割増の4億2,782万円です。これは、前年度繰越金を財政調整基金に積み立てたもので、平成23年度予算の財源としています。

なお、町民1人当たりの歳出総額は約69万4千円で、前年度に比べ約1万4千円の伸びとなりました。

※【】は前年度対比

国民健康保険事業特別会計	決 算 額		前年度対比
	歳入	10億 9万円	△3.6%
老人保健特別会計	歳入	9億 928万円	△2.8%
	歳出	95万円	△84.1%
後期高齢者医療事業特別会計	歳入	1億 316万円	4.5%
	歳出	1億 307万円	4.4%
介護保険事業特別会計	歳入	10億1,038万円	2.7%
	歳出	10億 649万円	4.1%
簡易水道事業特別会計	歳入	3億3,392万円	44.8%
	歳出	3億2,696万円	45.6%
温泉事業特別会計	歳入	9,276万円	382.9%
	歳出	6,383万円	224.1%
いやしの里診療所事業特別会計	歳入	3,394万円	△10.3%
	歳出	3,388万円	△1.8%



川根本町の財政健全性を診断

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成22年度の比率を皆さんにお知らせします。

●各項目の説明

【実質赤字比率】

一般会計など（一般会計、いやしの里診療所会計）の赤字の大きさを示すものです。収入から支出を差し引いた額を※標準財政規模で割り算した数値です。

【連結実質赤字比率】

全ての会計（一般、国保、老保、後期高齢、介護、簡水、温泉、診療所）における町全体の赤字の大きさを示すもの

です。全ての会計の赤字と黒字を合算した額を※標準財政規模で割り算した数値です。

【実質公債費比率】

1年間に町が地方債の返済に負担した額の大きさを示すものです。返済額から普通交付税で国が負担してくれる額は控除されるため、実質的な持ち出し分が算出されます。年間の返済額から普通交付税での額を控除した額を標準財政規模で割り算した数値です。※過去3力年の平均数値を使用します。

【将来負担比率】

町が将来負担すべき額（現時点で支払いが約束されている

るもの）の大きさを示すものです。負担額から普通交付税で国が負担してくれる額、町の基金などを控除した額を標準財政規模で割り算した数値です。

平成22年度は、控除額が負担額を上回ったためゼロとなりました。

【資金不足比率】

町で運営する公営企業（簡易水道事業特別会計、温泉事業特別会計）の資金不足額の事業規模に対する割合を示すものです。

※1標準財政規模とは町が1年間に通常収入される町税や普通交付税などの一般財源。

診断の結果

平成22年度決算は昨年度と同様、国で示す早期健全化基準を大きく下回っています。これらの数値から、川根本町の財政状況は「健全段階」にあると言えます。今後、将来の負担を考え、財政の健全運営に努めていきます。

総務課 ☎（56）2220

平成22年度予算の1年間の主な使いみち



◆議会費 6,151万円
・川根本町議会関係経費に 6,151万円

◆総務費 13億6,128万円
・本庁舎・総合支所の維持管理費 2,621万円
・地区集会所維持管理など 1,258万円
・自治会の振興 2,736万円
・広報かわねほんちょう発行など広報公聴経費 589万円
・町営路線バスの運行 2,073万円
・まちづくり事業費 1,590万円
・長島ダム水源地域振興 2,173万円
・地籍調査事業 2,142万円
・文化会館の運営費 3,389万円
・自然エネルギー活用機器設置補助など環境対策経費 1,381万円
・地デジ対策など情報政策費 5,984万円
・参議院・県議会議員選挙など2つの選挙費 4,003万円

◆民生費 10億4,432万円
・国民健康保険事業特別会計への繰出金 5,742万円
・老人保健特別会計への繰出金 142万円
・介護保険費（繰出金・補助金など） 5,794万円
・後期高齢者医療費（繰出金・負担金など） 1億3,684万円
・障がい者福祉の充実 1億4,515万円
・外出支援など老人福祉サービス 9,925万円
・保育園の運営費 1億7,376万円
・子育て支援対策 2,009万円
・子ども手当 8,303万円

◆衛生費 5億5,007万円
・簡易水道事業特別会計への繰出金 1億3,060万円
・飲料水供給施設の管理・整備 588万円
・合併処理浄化槽補助金など環境衛生の向上 5,670万円
・母子保健・予防・各種健康診断など健康増進 6,543万円
・診療所管理費（医療機器購入など） 2,134万円
・し尿処理 1億1,105万円
・ごみ処理 1億2,205万円

◆労働費 4,722万円
・緊急雇用創出対策 4,722万円

◆農林水産業費 4億4,957万円
・農林業センターの運営費 3,392万円
・農業振興 3,496万円

・農業農村整備事業（県営中山間地域総合整備負担金など） 2,095万円
・林道改良事業 2億2,907万円
・林業振興 5,371万円

◆商工費 3億1,895万円
・商工業振興費 3,790万円
・観光事業 1億1,242万円
・音戯の郷運営費 3,713万円
・茶茗館などの運営費 1,646万円
・ウッドハウスおろくぼ運営費（指定管理委託料含む） 690万円
・温泉事業特別会計への繰出金 8,886万円
・もりのくに運営費（指定管理委託料含む） 977万円

◆土木費 2億9,751万円
・町営住宅の維持管理 6,692万円
・町道の維持・改良事業 1億5,244万円
・河川の改修、維持管理 1,598万円
・急傾斜地崩壊対策事業 1,854万円

◆消防費 3億3,223万円
・常備消防事業費 2億1,349万円
・消防団員の報酬や消防団の設備整備経費 6,361万円
・消防施設整備 2,110万円
・自主防災組織の活動助成など防災事業 3,403万円

◆教育費 4億4,870万円
・通学バスの運営費 2,573万円
・小学校の管理、教育振興 1億1,103万円
・中学校の管理、教育振興 5,513万円
・生涯学習推進のための費用 600万円
・資料館運営費 844万円
・学校給食 8,095万円
・海洋センターの運営費 2,600万円
・社会体育施設の整備、管理費用 1,117万円

◆災害復旧費 7,121万円
・町道、林道の災害復旧 7,121万円

◆公債費 8億4,852万円
・町債の元利償還金 8億4,852万円

※過疎対策事業債など有利な資金を借り入れているため約6億6,764万円が国から支援されています。
注）決算の区分は地方財政状況調査に基づきます。

10月
 2011
 暮らしの
 カレンダー

役場本庁

【代表電話番号】

1 F

税務課

福祉課

地域包括支援センター

生活健康課

建設課

出納室

2 F

総務課

企画課

産業課

3 F

議会事務局

☎56-1111

☎56-2223

☎56-2224

☎56-2225

☎56-2222

☎56-2227

☎56-2228

☎56-2220

☎56-2221

☎56-2226

☎56-2229

総合支所ほか

【代表電話番号】

1 F

商工観光課

管理室

住民生活室

福祉介護室

産業建設室

教育総務課

生涯学習課

文化会館

本川根B＆G海洋センター

山村開発センター

☎59-3111

☎58-7077

☎58-7073

☎58-7070

☎58-7071

☎58-7076

☎58-2555

☎58-7080

☎59-3106

☎59-3332

☎56-2231

総合支所ほか

各種相談・お知らせ

- 行政相談
10月12日 ㊦ 9：00～11：30 文化会館
【問】総務課 ☎(56)2220
- 社会福祉協議会「よろず行政相談」
10月12日 ㊦ 9：00～11：30 文化会館
- 社会福祉協議会「よろず相談」
10月19日 ㊦ 9：00～11：30 生活改善センター
- 社会福祉協議会「法律相談」
10月26日 ㊦ 10：00～15：00 福祉センター
【問】社協本川根 ☎(59)2315 社協中川根 ☎(56)1872
- 精神保健福祉総合相談（精神保健、断酒など）
10月11日 ㊦ 藤枝市中部健康福祉センター 13：15受付
10月26日 ㊦ 藤枝市中部健康福祉センター 13：15受付(断酒会)
※要予約 中部健康福祉センター障害福祉課 ☎054(644)9279

やまびこ号のコース

【問】文化会館 ☎(59)3106

		地名集会所	西地名	塩 郷	下泉駅	下泉原	農協茶工場	南部小学校	高郷住宅
Aコース	着	9:15	9:40	10:10	10:30	10:50	11:15	13:15	13:45
	発	9:35	10:00	10:25	10:45	11:05	11:35	13:35	14:00
		尾呂久保	田野口駅	上長尾集会所	八中集会所	中央小	高郷NTT	三共生コン	
Bコース	着	9:20	10:00	10:30	11:10	13:05	13:30	13:45	
	発	9:40	10:20	10:50	11:30	13:25	13:40	13:55	
		瀬平集会所	三津間集会所	久野脇集会所	平 谷	下長尾集会所	梅 高	原 山	久保尾
Cコース	着	9:15	9:40	10:10	10:40	10:55	11:15	13:30	13:55
	発	9:30	10:00	10:30	10:50	11:05	11:35	13:45	14:15
		水 川	田 代	上岸集会所	総合支所	町文化会館	本川根小	徳山防災センター	正 島
Dコース	着	9:15	10:00	10:35	11:05	11:25	13:10	14:00	14:25
	発	9:35	10:30	10:55	11:20	11:40	13:30	14:20	14:40
		桑野山	寸又峠上駐車場	寸又峠公民館	やまびこ資料館	奥泉集会所	小井平		
Eコース	着	9:30	10:30	10:55	13:00	13:40	14:25		
	発	9:50	10:50	11:15	13:20	14:00	14:45		
		藤川西平	藤川保育園	藤川区事務所	崎平集会所	青部集会所	第一小	文 澤	寺町河内
Fコース	着	9:15	9:35	10:00	10:30	10:55	13:05	13:50	14:10
	発	9:30	9:55	10:15	10:50	11:15	13:20	14:00	14:20
								小 竹	
								14:30	14:40



日・曜	健康・子育て支援など ※()は受付時間	休日当番医	各施設の予定	やまびこ号	家族の予定
1 土			◆B＆G海洋セ：夜休館		
2 日		大下医院 川根本町下長尾219-1 ☎0547-56-0019	◆B＆G海洋セ：夜休館		
3 月	◆静岡厚生病院特定健診・後期高齢者健診 徳山コミュニティ防災センター (8:30～10:30) ◆榛原医師会健診結果説明会 (9/5受診者) 崎平地区集会所 13:30～15:00		◆B＆G海洋セ：休館 ◆文化会館：休館	Fコース	
4 火	◆静岡厚生病院特定健診・後期高齢者健診 徳山コミュニティ防災センター (8:30～10:30) ◆榛原医師会特定健診・後期高齢者健診 瀬平集会所 (13:15～14:00) ◆ポリオ予防接種 山村開発センター (13:30～14:00)		◆B＆G海洋セ：休館		
5 水	◆静岡厚生病院特定健診・後期高齢者健診 徳山コミュニティ防災センター (8:30～10:30) ◆ヘルシーアップ教室（講話）山村開発センター 13:30～15:00	子育て支援ひだまり 6日㊦ あそびの教室（B＆G海洋セ） 7日㊦ ハイキング（地名方面） 11日㊦ ふれあいわらべうた遊び 14日㊦ 親子ふれあいデー 18日㊦ おたのしみ会・誕生会 20日㊦ 聖母保育園と交流会 27日㊦ あそびの教室（親子運動） 28日㊦ ハロウィンクッキング 地名保育園 開放10/7、21 子育て支援施設☎(57)22311 地名保育園(開放日)☎(56)0605	Aコース		
6 木	◆静岡厚生病院特定健診・後期高齢者健診 地名集会所 (8:30～10:30) ◆あそびの教室 B＆G海洋センター 10:00～11:30 ◆榛原医師会健診結果説明会 梅高集会所 13:30～15:00			Bコース	
7 金	◆ことばの相談（予約制）創造と生きがいの湯 9:30～11:30 ◆定例健康相談 千頭東会館 9:30～11:30 ◆地区巡回健康相談 梅地公民館 13:30～15:30				
8 土	志太榛原地域救急医療センター10月の診療 診療時間 月曜～木曜日 午後7時30分～10時 金曜～日曜日 午後7時30分～翌日午前7時 診療科目 内科・小児科 ※ただし10月2日㊦、9日㊦、16日㊦、23日㊦、30日㊦の午後10時から翌日午前7時は小児科のみの診療となります。 藤枝市瀬戸新屋362-1 ☎054 (644) 0099		◆B＆G海洋セ：夜休館		
9 日		森本外科医院 島田市金谷上十五軒1987 ☎0547-46-1181	◆B＆G海洋セ：夜休館		
10 月		鈴木内科医院 川根本町徳山826-1 ☎0547-58-3100	◆B＆G海洋セ：夜休館		体育の日
11 火			◆B＆G海洋セ：休館 ◆文化会館：休館		
12 水	◆定例乳幼児相談 創造と生きがいの湯 9:30～11:30		◆B＆G海洋セ：トレーニング講習会	Cコース	
13 木	◆ヘルシーアップ教室（調理実習）生活改善センター 10:00～12:00 ◆榛原医師会特定健診・後期高齢者健診 下泉コミュニティセンター (13:15～14:00)				
14 金	◆定例健康相談 山村開発センター 9:30～11:30 ◆ポリオ予防接種 山村開発センター (13:30～14:00)			Dコース	
15 土	◆さゆり幼稚園「乳幼児のための親子登園～お母さんと一緒に幼稚園で遊ぼう～」 さゆり幼稚園運動会へどうぞ 10:00～12:00 ☎(57)2233		◆B＆G海洋セ：夜休館		

休日当番医はこちらのホームページでご確認ください。
 ㊦榛原郡医師会HP http://www.haibara-med.or.jp/

子育て支援施設☎(57)2231 休館日：日、月、祝日

日・曜	健康・子育て支援など ※()は受付時間	休日当番医	各施設の予定	やまびこ号	家族の予定
16 日		すぎもと耳鼻咽喉科クリニック 島田市金谷東1丁目931 ☎0547-47-3387	◆B＆G海洋セ：休館、 チャレンジスラローム ◆文化会館：休館		
17 月			◆B＆G海洋セ：休館 ◆文化会館：休館	Eコース	
18 火	◆榛原医師会健診結果説明会 (9/20受診者) 山村開発センター 9:30～11:00				
19 水	◆定例乳幼児相談 山村開発センター 9:30～11:30 ◆榛原医師会特定健診・後期高齢者健診 徳山コミュニティ防災センター (13:15～14:00) ◆ヘルシーアップ教室（運動）健康増進施設 13:30～15:00			Fコース	
20 木					
21 金	◆ことばの相談（予約制）山村開発センター 9:30～11:30 ◆静岡厚生病院健診結果説明会 (9/26受診者) 山村開発センター 9:30～11:00 ◆静岡厚生病院健診結果説明会 (9/27受診者) 山村開発センター 13:00～14:30			Aコース	
22 土			◆B＆G海洋セ：夜休館		
23 日		高木医院 島田市川根町身成3288-1 ☎0547-53-2006	◆B＆G海洋セ：夜休館		
24 月	◆静岡厚生病院健診結果説明会 (9/28受診者) 山村開発センター 9:30～11:00 ◆静岡厚生病院健診結果説明会 (9/29受診者) 山村開発センター 13:00～14:30 ◆おじさんキッチン 生活改善センター 10:00～12:00		◆B＆G海洋セ：休館 ◆文化会館：休館	Bコース	
25 火	◆子宮頸がん・乳がん検診 文化会館 (9:15～11:00) ◆巡回発達相談 山村開発センター 10:00～15:00		◆B＆G海洋セ：後期バレー大会打ち合わせ		
26 水	◆1歳6ヵ月・3歳児健康診査 山村開発センター (12:30～13:00)			Cコース	
27 木	◆あそびの教室 山村開発センター 10:00～11:30 ◆静岡厚生病院健診結果説明会 (9/30受診者) 山村開発センター 9:30～11:00 ◆静岡厚生病院健診結果説明会 (10/3受診者) 徳山コミュニティ防災センター 13:00～14:30 ◆カロリーウォッチ教室（講話）文化会館 13:30～15:00				
28 金	◆定例健康相談 創造と生きがいの湯 9:30～11:30 ◆地区巡回健康相談 坂京区会館 13:30～15:00 ◆竹の子会 山村開発センター 9:45～14:00			Dコース	
29 土			◆B＆G海洋セ：B＆Gクラブ、夜休館		
30 日		本川根診療所 川根本町千頭1147-1 ☎0547-59-3811	◆B＆G海洋セ：夜休館		
31 月	◆静岡厚生病院健診結果説明会 (10/4受診者) 徳山コミュニティ防災センター 9:45～10:30 ◆静岡厚生病院健診結果説明会 (10/5受診者) 徳山コミュニティ防災センター 10:30～11:30 ◆静岡厚生病院健診結果説明会 (10/6受診者) 徳山コミュニティ防災センター 9:45～10:30		◆B＆G海洋セ：休館 ◆文化会館：休館	Eコース	

健康カレンダー・休日当番医・施設の予定などは、広報編集時の予定です。
 予告なく変更する場合があります。確認のうえお出かけください。

ここにも、一つの物語。
 広報がわねほんちょう

空のムコウ

—ズーム・アップ—

Zoom up 5

語学力を磨き
国際性をはぐくむ
中学生海外英語研修

「カナダで外国の文化を知ると同時に、日本の文化について知ってもらいたい」

「カナダの友だちやホストファミリーなどと積極的にコミュニケーションをとっていきたい」
「東日本大震災について知られていないことがあれば伝えていきたい」

壮行会でそう決意を述べた子どもたちは8月1日から10日まで

本年度の海外英語研修にのぞみました

現地では、バンクーバー市内にホームステイし

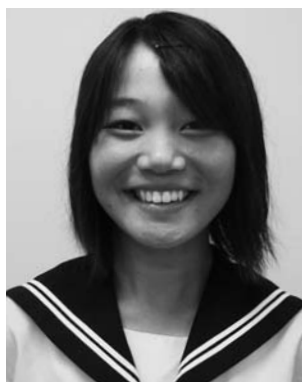
同年代の生徒たちと交流を深めながら英語力を磨きました

充実した表情で帰国の途についた子どもたち

何を学び、何を得て帰ってきたのでしょうか

本川根中学校2年

大庭佑里奈さん



感謝の気持ちを持つこと

私がこの研修で目標にしていたことは「人とのコミュニケーションをとる」ことでした。英語がうまく話せない私。ホストファミリーとの会話には苦労しました。でも私分からない時はゆっくり話してくれたり、「ソーリー」と謝ってくれたり、心優しく接してくれました。とてもうれしい気持ちになり、心から安心できました。

今回の研修を通して「英語力をつけること」「感謝の気持ちを持って生活すること」が大切だと学びました。

本川根中学校2年

堀吉菜生さん



気候の違い、文化の違い

今回の研修に参加して、私は多くのことを感じました。例えば、カナダでは夜の8時半から9時くらいまで明いため、日本よりも長く日中を楽しむことができます。散歩をしたりスポーツをしたり。日本では味わえない楽しさでした。

ホームステイでは、1日目は不安な気持ちでいっぱいでしたが、2日目以降は徐々に慣れ、期間の後半では楽しく生活することができました。カナダに研修に行って本当に良かった。感謝の気持ちでいっぱいです。

本川根中学校2年

笹木怜菜さん



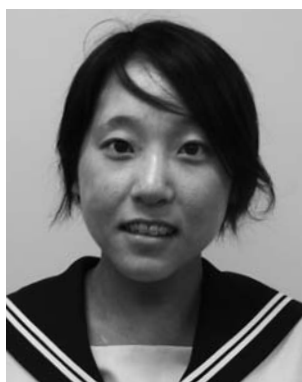
ホームシックも一つの経験

6月に実施された研修の面接では、何を聞かれるのが心配で緊張しました。言われた通りに英語で答えることができるか、とても不安でした。合格した時のうれしさは、言葉では言い表せないほどでした。

私にとって初の海外となりました。日本と違い大きな山がたくさん連なっていて驚きました。私がホームステイした家は中国系の家族で、私にとても優しく接してくれました。ホームシックになることもあったけど、大切な経験となりました。

本川根中学校2年

中村萌衣さん

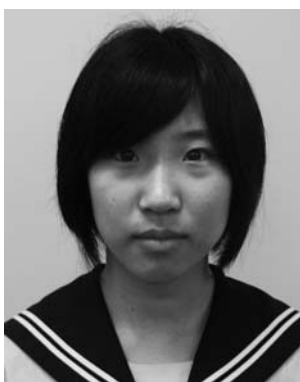


支え合う大切さに気付いた

私は研修の何日も前から、行くのが楽しみでした。カナダには日本と違うところがたくさんあり、見るもの全てが新鮮でした。私は英語があまり得意ではないので、伝えるのは難しかったけど、言葉以外の方法を使えば会話は成り立ちます。ホストファミリーは私の言いたいことをちゃんと分かってくれて、とてもうれしかった。戸惑うことも多かったけれど、友達と支え合い、カナダの人に助けってもらって、とても充実した時間を過ごせました。

本川根中学校2年

栗田紗江さん



日本の良さや家族のありがたさ

約10時間の空の旅を終えてバンクーバー国際空港に到着すると、日本の暑さとは違う、涼しくさわやかな風が私たちを迎えてくれました。広大で美しい自然、生の英語が飛び交う生活、カナダの子どもたちとの交流など、全てのことが新鮮で驚きの連続でした。ホームステイ先では、日本との食生活や文化の違いを目の当たりにしました。

カナダでの研修を終えて、日本の良さや家族がいるありがたさを改めて知ることができました。

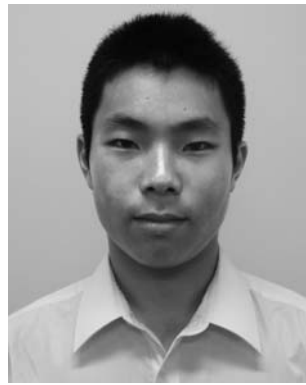
本川根中学校2年

服部未侑さん



黙っていたら何も伝わらない

私は英語を習っているので、自分の英語力がどれくらい通用するのか試したいと思っていました。実際にカナダでは、相手の言葉は何となく分かるけれど、自分がどう返答すればいいのかわからず困惑する場面がありました。でもホストファミリーが辞書を貸してくれたり、自分で身振り手振りで伝えたりすることで会話が成り立ったのでうれしかったです。黙っていたら何も伝わらない、自ら行動を起こすことが大事だということを学びました。



中川根中学校2年
鈴木悠斗さん



中川根中学校2年
中村大成さん



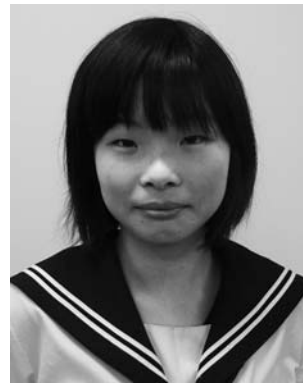
中川根中学校2年
田旗栄太さん



中川根中学校2年
澤口初音さん



中川根中学校2年
小林実嵩さん



中川根中学校2年
長嶋玲穂さん

人の温もりを感じた10日間

ホストファミリーは、僕を温かく迎えてくれるだろうか。不安なままホームスティ先に到着して、緊張しながら自己紹介すると、ホストファミリーは握手してくれ、すぐに打ち解けることができました。休日には湖、ウォーターパーク、教会にも行きました。教会のにぎやかさには驚きました。ホストファミリーと過ごした時間はとても楽しいものでした。ファミリーとたくさん触れ合うことができ、人の温かさを感じることができた10日間となりました。

思いを伝えることの大切さ

僕が一番心配していたのは、10日間一緒に過ごすホストファミリーのことでした。でも会った瞬間、「ハロ―大成」と握手を求めてきたファミリーのお父さんの顔を見たら、今までの心配は全部消えていました。最初は聞きとることも話すこともできなかった英語ですが、思いを伝えようとジェスチャーを交え積極的に話しかけました。すると徐々に理解できるようになり、会話が楽しくなりました。さまざまなことを学び、体験することができました。

中学生海外英語研修に参加

僕は、カナダへ向かう飛行機の中で機内放送を聞いた瞬間に鳥肌が立ちました。まるで何を言っているのかわかりません。外国人は、皆こんなに早口なのか、果たして会話なんてできるのだろうか…。そんな不安がよぎりました。現地の学校でも、ホームスティ先でも「ワンスモアブリーズ」の繰り返しでしたが、先生もホストファミリーも優しく教えてくれ、とても安心しました。いつかカナダの友達をつくって、カナダを楽しみたいと思っています。

優しい心遣いがうれしかった

期待と不安いっぱいだった今回の研修。案の定、私はすぐに日本の家族が恋しくなりました。するとさみしそうな私を見て、ホストファミリーの父は毎朝「おはよう！」と声をかけてくれ、日常の会話でも常に私を気にかけてくれました。分からない言葉は辞書やパソコンを使って翻訳してくれ、何とか私とコミュニケーションをとろうとしてくれました。そんな優しい心遣いがとてもうれしかったです。この経験を、これからの生活に生かしたいと思います。

ホストファミリーとの日々

今回の研修で、私の心に残っていることが2つあります。1つは、ホストファミリーとバスケットをしたこと。言葉の壁はあったけれど、スポーツを通して、コミュニケーションをとることができました。もう一つはホストファミリーと過ごした休日です。現地の祭りに連れて行ってもらい、日本ではあまり見られない光景をたくさん見るすることができました。私にとってこの10日間は、一生心に残る思い出になりました。

コミュニケーションの大切さ

カナダの文化や日本との違いを実感することができた研修でした。私は英語が得意ではありません。でも言葉だけでなく、ジェスチャーを交えれば気持ちが伝わるということを知りました。ホストファミリーと会話できた時は本当にうれしかった。特にホストファミリーが連れて行ってくれたウォータースライダーは印象に残る思い出でした。またカナダへ行く機会があったら、今度はもっとコミュニケーションがとれるようにしたいと思います。

ホストファミリーの笑顔を見た瞬間、心の中の不安は消えた…

13回目の海外英語研修
本町は旧町の時代から、中学生を対象とした海外英語研修を実施してきました。10代前半の感受性豊かな時期に、異国の文化や生活習慣に触れることで語学力を磨き、国際性をはぐくみ、さらには本町の良さを再発見するなどの狙いがあります。本事業は合併以前の平成9年度からスタートし、本年度で13回目を迎えました。研修先はカナダ・ブリティッシュコロンビア州・バンクーバー。カナダとアメリカの国境沿いにある、自然豊かで海が美しい町が舞台です。8月1日。涙を見せる家族に見送られ、本川根中学校、中川根中学校からの参加者18人は、笑顔を見せながら元気にカナダへと旅立ちました。異国の地。通じない言葉、異なる文化、慣れない環境に戸惑いながらも、さまざまな経験を通して一回り大きくなった子どもたち。8月10日、家族と対面し、元気な笑顔を見せました。

現地の学校で英語の授業を受ける生徒たち。生き生きとした表情が充実した研修であることを物語る



中川根中学校2年

鈴木智由利さん



ホストファミリーの笑顔

不安と緊張でいっぱいだった私を、ホストファミリーは笑顔で迎えてくれました。それを見て、私の不安は一気に軽くなりました。最初の頃は英文で話す余裕はなく、単語やジェスチャーを使って思いを伝えました。カナダと日本では、違うことばかりで戸惑うこともたくさんありましたが、どんな時もホストファミリーは優しく接してくれました。これからもっと英語力を身につけ、自分からコミュニケーションできるようになりたいと思っています。

中川根中学校2年

山下翔太さん



気持ちが通じた時のうれしさ

僕は英語が苦手なので、ホストファミリーと会話ができるかとても不安でした。ホームステイ先でホストファミリーと初めて会った時、僕に「ハイ、ショウタ」と声をかけてくれたファミリーの温かい一言で不安はなくなりました。僕は毎日、朝と夜に必ずホストファミリーと会話をしました。何度も言い直すこともあったけれど、気持ちが通じた時はとてもうれしかった。大変なこともたくさんありましたが、ファミリーとの時間が一番心に残っています。

中川根中学校2年

中野里保さん



人と接する大切さを知った

私はこの研修を通して、人と接する大切さを知りました。私は最初、何を話していいかわからず、自分から話すことができませんでした。ファミリーに質問されてもイエスやノーなど、一言しか返すことができませんでした。しかし、毎日一緒に過ごすうちに、少しずつ会話できるようになりました。いつの間にか積極的に話しかけようとする自分になりました。私はこの研修で学んだことを、これからの生活に生かしていきたいと思います。

中川根中学校2年

藤田潤平さん



心で通じ合えた気がする

僕の心に強く残っていることが2つあります。1つは「気候の違い」。日本の夏は蒸し暑く、少し歩いただけでも汗が出てくるのに、カナダでは日差しは強いけど蒸し暑さはなく、とても過ごしやすかったです。2つ目は「カナダ人はとてもフレンドリー」だということ。何ごとにも大らかで親切な人が多かったです。英語が苦手でも、心で通じ合えた気がします。今度僕がカナダに行った時には、日本の良さを伝えられたらいいなあと思いました。

中川根中学校2年

森脇祐矢さん

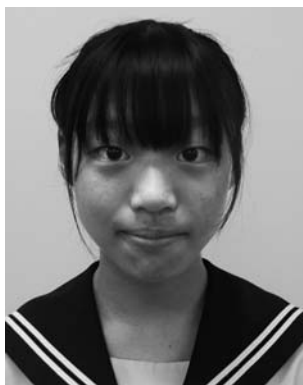


僕にとって最高の思い出に

僕はこの海外英語研修のことを小学2年生の時に知りました。「中学2年になったら僕も参加したい」という思いが芽生え、それからは一生懸命英語の勉強を頑張ってきました。夢がかなった研修では、どんな出来事が待っているだろうとわくわくしながら旅立ちました。最初は、ホストファミリーとうまく会話ができなかったけれど、だんだん日が経つにつれて英語にも慣れ、笑顔で過ごせるようになりました。僕にとって最高の思い出になりました。

中川根中学校2年

小川真吏香さん



英語力に自信がついた

10日間のカナダ研修。英語が得意ではない自分にとって、英語だけの世界はとても不安なものでした。研修へ行く前は、本当に会話ができるのかとても心配でした。でもカナダから帰ってきた今、感じるのは「以前より英語に自信がついた」ということです。日本の良さにも改めて気付くことができました。今、日本は震災で大変な時ですが、こんな中でも研修へ行かせてもらい、貴重な経験ができたこと。感謝の気持ちでいっぱいです。

生徒たちはホームステイ期間中、現地の人たちと交流を深めながら英語力を磨きました。触れ合いやボランティアの体験を通して、異国の文化、生活習慣などを学びました。初めてづくしの毎日。新たな自分を発見してワクワクしたり、自分にはない考え方に当たってドキドキしたりと、ほかでは得られない貴重な経験があふれていました。海外英語研修は、語学力を学ぶだけでなく、積極性や思いやりの心など「人間力」をはぐくむことにもつながっているのです。

生徒を迎えるホストファミリーは、本当の家族の一員として生徒を迎え入れます。最初は戸惑い、緊張していた生徒たちも、身ぶり手振りを交えながら必死に意思を伝え、家族の言葉に懸命に耳を傾けました。毎日一緒に過ごす中で互いの理解が生まれ、気持ちが通じ合うことで信頼関係が深まってきました。

この英語研修の経験者は「何よりうれしかったのはホストファミリーの愛情だった」と言います。今回の生徒たちの感想にも、ホストファミリーと過ごした時間のことがたくさん書かれていました。

かけがえのない体験と時間、そして家族愛を覚えてくれた海外英語研修。帰国した子どもたちの表情には、多くの成長が見てとれました。

充実の体験
受けた愛情
身に付いた自信
帰ってきた
子どもたちの
表情には
確かな成長があった



水と緑 未来にはばたけ 川根本町

今年も「産業文化祭」の季節が到来

住民の交流、ふれあいの場を提供することを目的に、まちの魅力・資源の再発見、地域への愛着につながる町民誰もが参加できる活気あるイベント「産業文化祭」を開催します。皆さんお誘い合わせの上、会場にお越しください。

【産業文化祭】

日時

11月6日 日

午前9時30分―午後2時30分

場所

役場前駐車場周辺

内容

会場敷地内での各種イベント

【美術作品展 産業文化祭会場】
日時
11月5日 土
午後1時―午後7時
11月6日 日
午前9時―午後2時30分

場所
中川根中学校体育館

【美術作品展 文化会館会場】
日時
11月9日 木―16日 木
※文化会館の開館日のみ
時間
午前9時―午後5時
会場
文化会館ロビーほか



問い合わせ まちづくり観光協会内 松本美乃里 ☎(59) 2746

いよいよ川根本町エコツーリズムネットワーク事業が折り返しの時期を迎えました。秋以降の体験プログラムは、これまでの半年間の経験を踏まえて、さらに結果として残していけるよう、活動を加速させていきたいと思っています。

9月は「稲作体験」「流木アート体験&自家製小麦のパウンドケーキ作り」「おーい！カップ隊〜キャンプ編〜」「滝で森林浴とヨガ」の4つのプログラムを実施しました。

秋といえば、食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋ということで、それぞれの体験プログラムでは、この時期だからこそ味わえるような個性あふれる体験ばかりでした。

これからの予定は、10月の「稲作体験」では稲刈りを実施します。4月に実施した田起こし作業から始まっ

たこのプログラムも今回が4回目。いよいよ待ちに待った収穫作業となります。私自身、今年の6月末から町内に10坪の畑を借りてナスやピーマンなどいろいろな野菜を作りました。野菜作りは初めての経験で大変な思いもしましたが、その分収穫の時の喜びは格別でした。お米の収穫も、個人的にとっても楽しみにしています。さらに10月23日 日と11月5日 土には「紅葉トレッキング」も予定しています。

本町は紅葉がとても美しい場所というだけで有名です。遠くから見ていだけでなく、トレッキングを楽しむことで、さらなる紅葉の魅力が発見できるはずですよ。

ぜひ町民の皆さんにも、地元を見直すきっかけとして多数ご参加いただけたらうれしく思います。

どうぞよろしくお願いします。



写真は8月に実施した藍の生葉染め体験



松本美乃里
エコツーリズム推進事業の地域コーディネーター。本年度、エコツーリズム推進事業の一員として、まちづくり観光協会を拠点に活動中。富士市出身。

正確な計量は生活の基本

私たちの身の回りには、ガス・水道・電気量、スーパーマーケットでの肉や魚の計量、タクシー料金・ガソリン料金の計算など、さまざまな計量器が使われています。安全で快適な生活を送るため、これらの計量器が正確に動き、正しく使われることがとても大切です。

「計量法」という法律により、規制の対象となる計量器を指定し、適正な計量の基準を定めています。

食料品の内容量と風袋

はかりで量った重さのことを「量目」といいます。計量法では量目について「正確な計量」に努めるよう義務付けています。

また、商品の入れもの（トレイ、ラップ、経木など）と添え物（わさび、たれなど）を風袋と呼んでいます。商品の量目（内容量）に、風袋は含まれません。

※商品内容量＝商品全体の重さ（総量）－風袋

身近な特定計量器と有効期間

体温計、血圧計、ガスメーター、水道メーター、ガソリンスタンドの自動車等給油メーターなどは、計量法で「特定計量器」に定められています。その中には、検定などの有効期間があるものもあります。検定などの有効期間を過ぎたものは使用することができません。

※検定：製造・修理された特定計量器が法の基準に適合しているかどうかを検査すること。

取引・証明に使うはかりは定期検査を受けましょう

取引・証明に使用するはかりは、県または特定市（沼津市・富士市・静岡市・浜松市）が実施する2年に1回の定期検査を受ける必要があります。対象となるお店は食料品店、宅配便取扱店、薬局などです。

相談は、県計量検定所 ☎054(28)8311までお願いします。

暮らしを支える正しい計量はかりは「定期検査」が必要です

商工観光課 ☎(58)7077

新しい保険証を送付しました

国保加入者の皆さんに9月下旬、クリーム色をした新しい保険証を送付しました。お手元に届いた保険証について、記載されている氏名、生年月日、住所などに誤りがないかを確認してください。有効期限の切れた保険証（うぐいす色）は、10月1日以降は使えませんので各自で破棄してください。

保険証をなくしたり、汚してしまったりしたときは再交付しますので、身分証明書とみとめ印を持参して、役場までお越しください。

なお、住所、氏名などに変更があったり、ほかの健康保険に加入したりした場合には、14日以内に生活健康課か総合支所住民生活室へ届出をしてください。

保険証の有効期限は平成24年9月30日です。ただし平成24年9月30日までに75歳になる人の保険証の有効期限は誕生日の前日までです。また、保険証に退

職の表示がなされ、平成24年9月30日までに65歳になる人は誕生月の末日（1日生まれの人は誕生日の前日）となっています。

保険証裏面に臓器提供意思表示欄を追加

臓器移植に関する法律の改正により、移植医療への理解を深める目的で保険証裏面に「臓器提供に関する意思表示欄」が設けられました。臓器移植は病気や事故によって心臓や肝臓などの臓器が機能しなくなった人に、他の人の健康な臓器を移植して、機能を回復させる医療です。

なお意思表示欄に記入するかどうかは、被保険者の皆さんの判断によるものであり、必ずしも意思表示する必要はありません。詳細は、保険証に同封したパンフレットをご覧ください。

臓器提供意思表示欄が裏面に設けられました

10月から国民健康保険証が変更になります

生活健康課 ☎(56)2222





保育園・幼稚園の園児を募集します

普段のさゆり幼稚園。お絵かきを楽しんでいます。

学校法人かわね学園さゆり幼稚園

●教育方針について

運動指導・野外活動…幼児期に適切な運動や水泳の指導を通して、身体と共に知能の発育を促し、自信を育てます。野外活動の機会を多く持ち、自然への畏敬の念や探求心を養い、体力を強化します。

音楽と表現活動…音楽の感性を養い心を育てるたくさんの歌を歌います。身体表現や楽器演奏を通して、音楽の楽しさを体験します。

知的発達活動…幼児の知的興味を誘う教材や遊具を用い、教育課程に基づいた「遊び」を通じ、一人一人の個性に応じた発達を促します。

宗教・情操教育…自然への畏敬、神秘を受け止める心を大切にします。また、生まれてきたことを感謝し、お互い認め合い、穏やかな人と人との関係を育てます。

●入園について

通園時間 午前8時30分から午後2時40分

※電車通園、バス通園のおさんは時刻表に合わせて停車駅まで送迎します。

預かり保育 ご家庭の事情により、通常時間を越えての預かり保育を午後5時ごろまで実施します。

休園日 土、日曜日、国民祝祭日 ※第1、第3土曜には、小学生と合同の土曜学校を開催します。

入園の条件 満3歳に達している子から入園できます。※年度途中でも、3歳になった日から入園できます。

納付金 幼稚園教育希望のご家庭は、国と町から「就園奨励費」が所得に応じ支給されます。その他授業料などについてはさゆり幼稚園までお問い合わせください。

問い合わせ

学校法人かわね学園さゆり幼稚園（川根本町徳山845）

☎(57)2233 ☎(57)2239

ホームページから <http://sayuri-forest-dream.jp>

桜、三ツ星、徳山聖母保育園

24年度の新規入園および来年度途中からの入園申し込みを下記のとおり受け付けます。

対象 町内在住で**1**から**4**のいずれかの理由により、家庭で十分な保育を受けられない児童（保育できる祖父母などがある場合を除く）。

1児童の保護者が家庭の外に勤めている場合

2児童の保護者が家庭内で児童と離れて日常の家事以外の仕事をしている場合

3児童の保護者が長期の傷病や心身障害、または母親が出産前後である場合

4児童の保護者が火災、風水害、震災、その他の災害の復旧にあたっている場合

申し込み 11月11日**金**までに本庁福祉課福祉室、総合支所福祉介護室、町内各保育園、子育て支援施設に備えてある書類に必要事項を記入し、本庁福祉課福祉室、総合支所福祉介護室、町内保育園のいずれかに提出してください。子育て支援施設では書類の受け取りができません。

その他 各保育園は、随時見学することができます。事前に保育園に連絡してお出かけください。

※保育時間などは、各保育園によって異なります。

町立桜保育園☎(59)2201、町立三ツ星保育園☎(56)0043
私立徳山聖母保育園 ☎(57)2234

●入園までの手続きの流れ

1申し込み受付 10月11日**火**～11月11日**金**

2入園面接

3入園承諾通知 平成24年1月下旬

4保育料算定資料提出 平成24年3月中旬予定（保護者の平成23年分源泉徴収票または確定申告書の写しが必要）

5入園 平成24年4月

問い合わせ

役場福祉課 ☎(56)2224

受けよう 結核・肺がん検診(胸部レントゲン検診)

1最寄りの会場で受診してください。対象者は40歳以上（本年度、勤務先・病院などで結核・肺がん検診を受診または受診予定の人は除きます） **2**喀痰検査は40歳以上の希望者および問診票の内容(自覚症状、喫煙状況など)により、必要者に対して実施します(当日、容器を渡します。自己負担は70歳未満:600円、70歳以上:100円)。

実施	地 区	会 場	時 間
10月11日 火	青 部	青 部 地 区 集 会 所	9:20～10:20
	崎 平	崎 平 地 区 集 会 所	10:45～11:45
	柳 三	柳 三 集 会 所	13:30～13:50
	田 代	田 代 区 会 館	14:10～15:10
12日 水	平 栗	中 澤 貞 雄 様 宅 前	9:00～9:30
	桑 野 山	中 村 勝 行 様 宅 前	9:50～10:50
	沢 間	鈴 木 国 之 様 宅 前	11:00～11:45
	寺 馬	寺野共同製茶加工組合 工 場 横 駐 車 場	13:30～14:15
		豊 川 稲 荷 前	14:30～15:00
13日 木	小 長 井	文 化 会 館	9:30～11:30
			13:00～14:30
14日 金	接 岨	梅 地 公 民 館	10:00～10:45
	平 田	平 田 集 会 所 入 口	11:00～11:20
	大 間	寸 又 峽 公 民 館	13:00～13:50
	奥泉・谷畑	奥 泉 地 区 集 会 所	14:20～15:10
17日 月	富 士 城	中 澤 一 太 郎 様 宅 前	9:20～9:50
	細尾・小山	大 倉 ふ さ 様 宅 前	10:30～10:50
	八 木	八 木 ポ ン プ 小 屋 前	11:00～11:20
	大 沢	大 谷 地 区 集 会 所	11:30～12:00
	坂 京	坂 京 区 会 館	13:30～14:00
	上岸・前山	上 岸 地 区 集 会 所	14:30～15:10
18日 火	千 頭	役 場 総 合 支 所	9:30～11:30
			13:00～14:30
19日 水	田 野 口	田 野 口 駅 駐 車 場	9:30～10:30
	小 井 平	小 川 羊 一 郎 様 宅 前	11:00～11:30
	藤 川	藤 川 区 事 務 所 前	13:30～15:30
20日 木	原 山	原 山 農 民 館	9:30～10:00
	久 保 尾	西 村 巳 喜 三 様 宅 前	10:25～10:50
	向 井	飯 田 積 様 宅 前	11:20～11:50
	瀬 平	瀬 平 集 会 所	13:30～14:30
21日 金	下 長 尾	川 根 茶 業 組 合 前	9:30～11:30
	三 津 間	三 津 間 集 落 セ ン タ ー	13:30～14:10
	久 野 脇	久 野 脇 集 会 所	14:30～15:30

実施日	地 区	会 場	時 間
24日 月	梅 高	梅 高 集 会 所	9:30～11:00
	上 長 尾	山 村 開 発 セ ン タ ー	13:30～15:30
	夕方検診	山 村 開 発 セ ン タ ー	16:30～19:00
25日 火	徳 山	徳山コミュニティ防災 セ ン タ ー	9:30～11:30
			13:30～15:30
26日 水	地 名	地 名 集 会 所	9:30～11:30
	下 泉	下 泉 高 齢 者 コミュニティセンター	13:30～14:30
			15:00～15:30
27日 木	高郷・八中	デイサービスセンター前	9:30～11:30
	水 川	水 川 集 会 所	13:30～15:00
12月1日 木	南部(中川根)追加	山 村 開 発 セ ン タ ー	9:30～11:30
	北部(本川根)追加	文 化 会 館	13:30～15:30

【受診上の注意事項】

- 検査にはボタン、プラスチック、金属などの付いていない、撮影しやすい服装でお出かけください。
- 10月24日**月**に夕方検診を実施します。ぜひご利用ください。
- 妊娠中またはその可能性のある人は受診しないでください。
- 10月18日と27日は車いすの人でも利用できる車両による検査を実施します。

【問】生活健康課健康室

☎(56)2222

住民生活室

☎(58)7070



将来の町の姿を思い描く

第2回総合計画町民ワークショップ開催

総合計画策定のための第2回町民ワークショップは8月11日、役場本庁会議室で開かれました。

今回のワークショップのテーマは「川根本町が、こんな町になったらいいなあ」。理想的な町の姿について、班ごとに夢や希望を語り合いました。

「元氣なあいさつが飛び交う町」「医療・福祉が充実した町」「アプトを訪ねて世界中から人々が集まる町」「町民一人一人が自慢に思える町」など、各班がそれぞれ担当する総合計画の分野に関わらず、町全体に関するさまざまな意見を出し合いました。

そんな理想の町にしていくなめには、今、町民の皆さんにできることは何でしょうか。次回ワークショップからは、総合計画基本計画に掲載されている「町民の取り組み」について考えていきます。



積極的に意見を出し合ったワークショップのもよう

川根本町まちの話題



推薦に選ばれた福井一夫さんの作品「塩見岳幽玄」

緑のカーテンの普及を願い

商工会が主催する緑のカーテンコンクール

商工会では、地球に優しい企業活動を目指し「ストップ・ザ・温暖化対策」に取り組んでおり、その一環として中部電力(株)大井川電力センターと協力し、会員を対象とした緑のカーテンコンクールを実施しています。

本年度は40事業所がコンクールに参加。昨年度のコンクール同様、どの事業所も素晴らしい出来栄で、審査は難航を極めました。結果、次のとおり受賞者が決まりました。表彰式は11月12日のふるさと祭り会場で挙行されます。商工会ホームページではコンクール結果を写真付きで掲載しています。

商工会本所地域 最優秀賞：坂口建具（徳山）、優秀賞：中野食堂（徳山）

商工会支所地域 最優秀賞：みき美容室（小長井）、優秀賞：東海電設（小長井）



写真は商工会支所地域で最優秀賞に輝いたみき美容室

最高賞に「塩見岳幽玄」を選定

白旗史朗・奥大井フォトコンテスト結果

奥大井地域振興協議会が主催する第16回白旗史朗・奥大井フォトコンテスト」の審査が7月11日に実施され、このほど結果が発表されました。

応募総数88点から白旗史朗さんが推薦、特選などの各賞10点を選考。推薦に福井一夫さん（埼玉県）の「塩見岳幽玄」が、特選に望月正晴さん（静岡市）の「秋の湖上を行く」が選ばれました。審査員の白旗さんは「今回は作品のほとんどが山岳、渓谷風景、行楽でのスナップなどが占めました。入選作品はそれぞれ優れたカメラアイ、シャッターチャンスを生かしたものばかりで、斬新なアングル、切り口の作品もありました」と総評を述べています。入選作品の一部は、同協議会が作成するポスターなどに活用される予定です。

役場の窓辺から yakuba no madobe kara

秋の行政相談週間10月17日―23日

行政相談委員を知っていますか

行政に対する相談は
あなたの身近な相談窓口へ

年金、河川・海岸などの管理、雇用、道路など、国の仕事やその手続き、サービスについて「困っていることがある」「こうしてほしい」「どこに相談したらよいかわからない」といったことはありませんか。

このような国の行政に対する皆さんの苦情、要望、問い合わせなどの話を聞き、解決への手助けをするのが総務省の「行政相談」です。

そして、皆さんが国の行政に関する相談をされる際、身近な相談窓口になるのが「行政相談委員」です。行政相談委員は総務大臣がお願いした、皆さんの身近に住む民間の有識者（ボランティア）です。困り事などがある場合には、気軽にご相談ください。また次のとおり、相談窓口を設けます。秘密は固く守ります。相談は無料です。気軽に利用ください。

気軽に相談してください
本町の行政相談委員



佐藤京子さん
（上岸）



渡邊妙子さん
（八中）

行政相談所のご案内

- 1 文化会館（小長井）
10月12日 午前9時～11時30分
- 2 生活改善センター（高郷）
11月16日 午前9時～11時30分

【問】静岡行政評価事務所
0570-090110
<http://www.soumu.go.jp/hyokugyousei-form.html>

訂正して再度お知らせします

緑茶の里いい歯キラリ番人の歯 コンクール入賞者を再度お知らせ

広報かわねほんちょう9月号の14ページでご紹介した「緑茶の里いい歯キラリ番人の歯コンクール」の内容について、各部門の入賞者に誤りがありました。ここに訂正し、再度ご紹介いたします。関係者の皆さまにご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。
正しい入賞者は次のとおりです（敬称略）。

【審査結果】

- 金の部** 昭和6年4月1日以前生まれの者
①山口教平（藤川）②山本學（高郷）③藤田幸男（瀬平）
- 銀の部** 昭和6年4月2日から昭和11年4月1日生まれの者
①小西學（奥泉）②大村哲男（千頭）③長濱辰巳（徳山）
- 銅の部** 昭和11年4月2日から昭和16年4月1日生まれの者
①山本綾子（梅高）②中澤由紀子（小長井）③佐藤福美（下長尾）

気軽にご相談ください

身体障害者巡回相談を実施

日時 10月28日 午前10時～正午（受付：11時まで）
場所 役場本庁
担当医療機関 静岡医療福祉センター
診療科目 整形外科
対象者 肢体不自由身体障害者（児）
相談内容
①更生医療給付に関する判定及び指導・助言
②補装具交付に関する判定及び指導・助言
③必要に応じ、身体障害者手帳等級審査
④その他の福祉相談
申し込み 相談を希望する人は10月18日までに、電話でお申し込みの上、当日お出かけください。相談は無料です。

【問い合わせ】

役場福祉課 ☎（56）2224
島田市役所川根支所 ☎（53）4581

生活健康課 ☎（56）2222

町 新潟県で充実の3日間
小学生が体験学習

11回目となる小学5年生の県外体験学習は8月3から5日までの3日間、新潟県で実施され、小学5年生60人が参加しました。

野尻湖ナウマンゾウ博物館では、学芸員による説明を真剣に聞きながら館内を見学。見学のあとは野尻湖の発掘現場へ移動し、化石発掘の様子を見学しました。

4日の朝には、みんな早起きして地引網体験。さまざまな魚が網にかかり、みんなで大喜びしました。糸魚川市立磯部小学校の児童との交流会も催され、子どもたち同士の交流も進んだ3日間となりました。

幼 遊びの中で水に慣れ親しむ
児アクアリズム発表

本川根B&G海洋センターでは幼児アクアリズム教室の発表会を開きました(9月10日:聖母保育園・さゆり幼稚園、11日:桜保育園、19日:三ツ星保育園)

アクアリズム教室は6から9月のプール開放期間に併せ、各保育園、幼稚園園児を対象に実施している教室で、水に慣れ親しむことと運動習慣の定着を目的に実施しています。

最初は顔を水につけるのさえ怖がっていた子どもが、遊びの中で徐々に水に慣れ、最終的には顔を水につけたり、潜ったりすることができるようになりました。

海 海と山の子どもたちの交流も深まった
の子山の子交流教室「海の体験」

海の子・山の子交流教室(海の体験)は8月25から26日の2日間、焼津市で実施され、本町の小学4、5年生20人と焼津市の小学4、5年生20人が参加しました。焼津魚市場で、カツオとマグロの水揚げを見学したり、江戸時代の木造カツオ漁船を復元した八丁櫓の乗船を体験したりと、海の町ならではの活動に取り組み、子どもたちの交流が深まりました。



子どもたちに人気がある「八丁櫓の乗船体験」

ふ キャンプとEボートを楽しんだ2日間
るさと発見団「アウトドアを楽しもう」

ふるさと発見団は8月18から19日の2日間、小学4、5、6年生24人が参加してアウトドア体験を実施しました。1日目は節電の勉強やEボートの体験を楽しんだ後、もりのくにでみんなワクワクのキャンプ体験。夜はバーベキュー、花火大会、肝試しなどを楽しみました。2日目には田舎家でピザ作りを体験するなど、充実した2日間を過ごしました。



湖面を渡る風を感じよう。Eボート体験

駅 月曜日・水曜日の週2回、市町対抗駅伝競走大会に向け練習中
伝大会まで残り2ヵ月、練習も佳境に入りました

12月3日に開催される第12回静岡県市町対抗駅伝競走大会。本町では、毎週月曜日と水曜日、午後7時から中川根第一小学校グラウンドで選手候補者とコーチスタッフが練習に励んでいます。

大会まで残り2ヵ月。現在は走るスピードをつけるためのインターバル走を中心にトレーニングしています。皆さんの応援が一番のエネルギーです。ぜひ練習を見学してください。

候補選手については11月6日、産業文化祭会場で紹介する予定となっています。



コーチの指導の下、懸命な練習が続けられています。

10月の
お買い得
情報

オチアイ秋の大感謝祭 10月21・22日 会場：落合刃物工業本社工場

今！予約して来年2月に購入！で、値引き&景品をゲット！

カワサキが乗用以外の生産を中止したので、可搬はオチアイだけ！詳しくはお問い合わせください。

農機具の購入・修理・改造など、お気軽にご相談ください。地域のお店だからこそ、ていねいに分かりやすく、迅速に対応いたします！

前田機材

川根本町上長尾795-1
I P 電話 ☎050-3363-2252
☎56-0006 FAX 56-0009



「しまった！ また、やっちゃった…！」

こんなとき当社钣金部へ。早い、安い、納得のできあがり。
朝出して、夕方引き取り 钣金部長 森永

川根自動車株式会社

川根本町上長尾869-2 ☎0547 (56) 0150

応急手当普及員養成講習 緊急時に慌てないために

金谷消防署川根北分遣所

心肺蘇生法、AEDの取り扱い方など「命に関わる緊急の時」に役立つ応急手当を指導・普及できる人を養成する講習会を開きます。防災意識が高まっている今こそ、必要な知識や技術を多くの人に広めていきましょう。

全24時間（8回）の講習会です。

活動内容 各種イベントの救護・AEDスタッフ、各指導員団体による救急講習会の開催・指導、各指導員団体による練習会・勉強会など

受講料 無料（定員15人）

対象者 地域で応急手当普及啓発活動をしたい人、事業所や地域の防災組織などでリーダーを務める人

受講資格 中学生以上

申込期間 10月1日☎～30日☎

申込方法 川根北分遣所に電話で申し込んでください。

講習日程

①11月5日☎、②6日☎、③12日☎、④13日☎、⑤19日☎、⑥20日☎、⑦26日☎、⑧27日☎

※時間は全て午前9時～正午

※場所は全て川根北分遣所（藤川）

再講習について 平成20年に応急手当普及員講習認定証を受けた人で、再講習を希望する人には再講習を実施します。日時と場所は次のとおり。

11月6日☎ 午前9時～正午
川根北分遣所（藤川）

【問】金谷消防署川根北分遣所

☎ (58) 3015

忘れないで、愛車の点検 快適なカーライフのため

中部運輸局静岡運輸支局

車の部品は走行や時間の経過に伴い劣化・摩耗します。車の健康はドライ

バー自身が守る時代です。乗る前に車の健康状態をチェックし、調子が悪いと感じたら、すぐに点検しましょう。安全なドライブには、日常点検・定期点検の両方を実施することが大切です。**【問】**中部運輸局静岡運輸支局整備担当 ☎054 (261) 7622

雇用の拡大支援します 労働局からのお知らせ

静岡労働局職業安定課

前年より従業員を一定以上増やすなどの条件を満たせば1人当たり20万円の法人税などの控除が受けられます。従業員を増やす予定のある事業所は8月1日以降に雇用促進計画を提出してください。詳しくは静岡労働局職業安定課または最寄りのハローワークにお問い合わせください。

【問】静岡労働局職業安定課

☎054 (271) 9960

または最寄りのハローワークまで

伝えたい大切なメッセージ 水谷修氏講演会 10/21☎

嵯島田青年会議所

嵯島田青年会議所では10月人間力開発例会として、水谷修氏講演会を開催します。未来を担う子どもたちに、今を担う大人たちに、今、伝えたい大切なメッセージがあります。ぜひご来場ください（事前申込要、入場無料）。

日時 10月21日☎ 開場午後6時30分

場所 島田市総合スポーツセンター
ローズアリーナ（メインアリーナ）

内容 講演会 水谷修氏

申込方法 島田青年会議所に電話して参加申込書を請求してください。申込期限は9月20日ですが、20日時点で席に余裕がある場合は継続して参加申込を受け付けます。

【問】嵯島田青年会議所 〒427-0056島田市大津通1965 サンライズ島田3-B ☎ (35) 6359 ☎ (37) 7855

http://www.shimadajc.or.jp/

杉材ベンチを各学校にプレゼント

町産業課林業室では木材活用事業で製作した「杉材ベンチ計28基」を8月下旬、町内小・中・高等学校へプレゼントしました。素材生産が主で木材業が乏しい本町ですが、こういった事業で積極的に木材を使うことで消費拡大につなげたいという願いが込められています。昨年は文化会館とB&G海洋センターに同ベンチを設置。今後も公共施設などに設置していきたい考えです。



プレゼントされた学校の生徒は早速ベンチに座って歓談を始めました。「木の温もりが気持ちいい」「癒されるよう」などの感想が聞かれ、生徒の交流の場としても機能していました。

町産業課 ☎ (56) 2226

川 根 本 町 の 人 口

平成23年9月1日現在

世 帯 数	3,047	世帯	(－6)	【41】	出 生	1 人	【0】
総 人 口	8,337	人	(－25)	【70】	死 亡	12 人	【0】
男 性	4,080	人	(－10)	【17】	転 入	11 人	【0】
女 性	4,257	人	(－15)	【53】	転 出	25 人	【2】

※（ ）内は前月比、【 】内は外国人数、右欄は今月中の異動 ※外国人の数を含む

行政書士制度強調月間 無料相談を実施します

県行政書士会島田支部

行政書士は、官公署に提出する書類、権利義務や事実証明に関する書類を作成します。

書類を代理で提出したり、契約その他に関する書類を代理人として作成したり（行政書士が作成できるものに限る）、それらの相談にも応じています。

県行政書士会島田支部では次のとおり無料相談会を実施します。

日時 11月3日☎午前9時～午後3時

場所 島田市金谷 夢づくり会館

※なお、10月は強調月間中です。島田支部会員各事務所では、無料相談を実施しています。気軽にご相談ください。

【問】県行政書士会島田支部

支部長 若杉利枝 ☎ (35) 4526

代替エネルギー「木」に着目 薪ストーブなど設置に補助

町産業課

町では石油に替わるエネルギーとして「木」に着目しました。薪など木質バイオマス燃料を使用するストーブ・給湯ボイラー・風呂釜を設置すると、費用の5分の1以内（5万円限度）で補助金を交付します。

現在、CO2の排出削減に有効である「木質バイオマス燃料」が再び脚光を浴びてきています。今年の冬は「薪ストーブ」で暖をとってみたいはいかがでしょうか。

補助金の交付を受けるには…

①補助金交付申請書を役場産業課に提出してください。この申請書には、薪ストーブなど設置費用が分かる見積書、仕様書、工事前の写真、設置場所の見取図などをつけてください。

②役場から補助金交付決定の通知を送付しますので、受け取ったあと工事に着工してください。

③工事が終了したら、役場に実績報告書（費用の内訳が記載された領収書の写し、設置状況の写真などを添付）と補助金の請求書を提出してください。各様式の内容などについては産業課まで気軽にお問い合わせください。

【問】産業課林業室 ☎ (56) 2226

第1回NIPPONまつりLIVE

長島ダム特設会場で開催 10月22日☎

3月11日に起こった東日本大震災の後、全国各地で多くの支援活動が展開されています。ニューヨークに本部を持つ「国連の友」もさまざまな活動をしてきました。その国連の友の承認の元、マザーズハート財団が中心となり「ともだちプロジェクト」を立ち上げました。その活動の一つとして、被災地から遠く離れた全国の市町村民も元気にすること、世代やハンディ、地域を越えて日本が一つになることを目的として、全国100カ所を目標に地域主体による「NIPPONまつりLIVE」を開催することが決まりました。

お茶の風評被害を受ける静岡県内で、自然豊かで誇れる観光資源があるなどの理由から、第1回が10月22日☎、本町長島ダムに特設会場を設置して開催することが決定しました。

「NIPPONまつりLIVE」の収益金と募金は、国連の友を通じて医療セラピードッグのエルシド君、ロ

レンス君（当日は、イベントの募金活動などに参加します）と医師が被災地を巡回する無料心療所の活動資金に使われます。また最終収益は、開催自治体に寄付されることになっています。

町民の皆さんに、ぜひ当日イベント会場にお越しください。また当日のボランティアスタッフ、テナントの出店、ワークショップの出店など、ご協力いただける人も募集しています。詳細は、「NIPPONまつりLIVE」実行委員会までお問い合わせください。



出演予定のコロッケさん

川根本町「NIPPONまつりLIVE」実行委員会 滝浪利枝 ☎ (59) 2311

アトムに育てられた大大もアトムを知らない子どもや若者にも今、一番触れて欲しい手塚作品。

川根本町だからこそ実現。解説付き上映会。

手塚治虫のメッセージ

10月8日☎ 午後5時開演

文化会館 ☎ (59) 3106

SLが走る川根本町ならではのセレクト
☎ 山太郎かえる
クマの子山太郎は両親を亡くし、人間の手で育てられていた。山太郎の友達は無言のうちに、クマと人間世界の距離を縮くことで、誰かと共に生きていくことの素晴らしさを語りかけてくれる作品。

手塚プロダクション代表取締役社長による作品解説・講演付きアニメ映画鑑賞会

チケット発売中 小学生300円 中高生500円 大人750円（通信販売可）

第1部 講演 手塚プロダクション代表取締役社長 松谷孝征氏

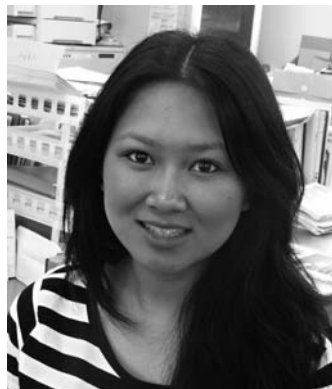
第2部 手塚治虫作品アニメ映画上映会

「ブラックジャック オペの順番」「雨ふり小僧」「山太郎かえる」

息を飲むような景色の中で ライフ・イン・カワネ

ALT ハン・リー
と「おはよう」のあいさつを受けます。私が初めて川根高校に来たときは、温かい笑顔で迎えられました。川根は静かなお茶の町ですが、隠れたレストランや温泉がたくさんあるようです。まだ1カ月ですが、私はすでに川根の魅力のとりことなっています。自分の部屋に座って外のお茶畑を見ていると、素晴らしい場所に来たのだと実感します。これからの1年で、川根の違った季節の美しさを堪能できるのが楽しみです。

長い曲がりくねった道を抜けると、東京の明るい街の明かりが、遠い世界のよう感じられました。車の後部座席から、周りの美しい緑の山々が見え、その景色は息を飲むようでした。私の心はわくわくしていましたが、少しの不安も感じていました。家から離れて暮らすのは初めての経験で、外国に住むということにも怯えていたのです。たくさん学ぶべきこともあり、お辞儀、靴を脱ぐ習慣、セミの声、日本語の道路標識、そしてもちろん言葉の壁……。でも、私の不安はすぐに消えました。



貴重で有意義な時間だった
3日間の勉強合宿
川根高校1年 田旗陽太
私は3日間の勉強合宿で知識以外にも「勉強に対する姿勢」などを学ぶことができました。朝から晩まで実施された補習では、普段の授業時間の倍以上の時間をかけて勉強する教科もありました。120分間机に向かい続けて授業を受けるというのは初めての経験だったので、慣れない部分もありましたが、集中力を養うことができました。夜の自習時間では、連日、3年生の先輩が12時を越えても問題集に向かい続けている姿を目にしました。その姿から勉強に対する姿勢というものを感じました。



column

中村 空 暁くん
父：英生・母：理恵子
たかとしくん1歳のお誕生日おめでとう。いつもたくさん笑顔でありがとう。みんなたかとしくんに癒されてるよ。これからも、たくさん遊んで食べて、大きくなあれ！

H22.9.28生 梅高

みんなの笑顔が、
まちを元気にするよ😊
1歳を迎えるお子さんのかわいい笑顔を紹介しています。毎月対象となるご家庭に、案内通知を送付しています。

Birthday

出生・婚姻・おくやみ 戸籍の窓辺

お誕生おめでとう 地区	氏名	性別	保護者
徳山	西村 優希	男	健一
おくやみ申し上げます 地区	氏名	享年	届出人
藤川	高田 一夫	95	恵夫
藤川	原田 一夫	96	千福
上長尾	八木 次郎	88	辰男
上長尾	森脇 喬	85	清隆
高長尾	松本 一夫	88	美雪
下長尾	岡下 治郎	81	一枝
徳山	中野 政民	79	一夫
徳山	宮崎 和夫	79	覚
徳山	山崎 和夫	79	ふみ

family registration

つれづれなるままに 編集後記

「自分のおかげじゃないよ。関係機関の皆さん、汗を流してくれた町の皆さんのご協力があったからだよ」。

全国茶品評会の審査結果が発表された8月下旬。日本一という快挙に沸いた川根本町。おめでとうの一言を言いたくて土屋鉄郎さんに電話をすると、冒頭のような言葉が返ってきた。

鉄郎さん所有の茶園は尾呂久保の自宅周辺に広がっている。山肌を切り開いてつくられたその茶園に機械は入れない。人が上り下りするのも一苦労なほどの急な斜面だ。茶が入った重い袋を抱えたり、肥料を担いだりすればなおさら。どれほど重労働か、想像するのは難しい。

3年前、やはり鉄郎さんが日本一に輝いたとき、広報のインタビューに対して鉄郎さんはこのように答えた。

「元々この地域は機械化に適した土地じゃない。大量生産できる茶産地と同じ土俵では戦えない。この自然に教わり、生かし、品質の高さに誇りを持って作り続けるだけ。本町の環境は、高品質な茶作りに最も適した土地だと思っている」。

放射能汚染に関する茶の安全性への懸念、そして広がる風評被害に心を痛めた夏場。

「静岡茶産地はどうなるのか」。不安な夜を過ごした人も少なくないだろう。実害を乗り越え、風評を乗り越え、川根茶産地に再び光を与えた大きなニュース。

関係者の皆さんに「おめでとう」と「ありがとう」を贈りたい。

小笠原聡



after word

眼科患者さん無料送迎いたします。

ご近所から、当院まで送迎車にて無料送迎いたします。
ご予約は電話にてお願いします。
(当院に初めて受診される方もご利用いただけます)

島田眼科クリニック

住所：島田市日之出町3-9
島田駅から徒歩1分
☎0547-37-0431
診療時間：午前9時～12時、午後2時～6時
(休診日：水曜日、日曜日、祝日)

小売りいたします お気軽にどうぞ
町内への配達もいたします

茶新坂本園

川根本町上岸110 ☎0547-59-2155

墓石・燈籠・各種石材加工

藤田石材店

川根本町上長尾861-35 ☎・FAX0547-56-1177
http://www.citydo.com/sp/0547-56-1177

「広報紙」は、やっぱり人と人とのつながりで
作られているんだなあということを強く感じました。
体当たりの取材はすごく緊張したけれど、
でも、とっても楽しかった。
世間話をはさみながら、だんだんと打ち解けていき、
次第に掘り下げた話になっていく…
その人の物語が形となって残ってゆく…
実際に経験してみないと
分からないすごさでした。 中村美王



熱心な取材がうれしかった

かづよし
気田一良さん(下泉)

中村美王さんの熱心な姿勢が何よりうれしかった。石ころアートは自分の励みになる趣味。ずっと続けていきたいと思っています。どんな紙面ができていくのか、ちょっと恥ずかしいけれど、今から楽しみ。一生懸命取材してくれてありがとう。※美王さんが取材・編集した気田一良さんの記事は、来月号に掲載する予定です。

「まだまだ私は積極性が足りません。取材も記事も、上手にこなせなくて。卒業までに、いろんなスキルを磨いていきたいと思っています。もちろん緊張もしたけれど、それ以上に楽しくて。貴重な経験になりました。」
終了後、広報担当者として握手を交わし、とびきりの笑顔を見せた。



写真上／体当たりのインタビュー。その距離感に必死さがにじみ出る中／石ころアートに挑戦。実体験が記事に深みを増す 下／役場に戻り編集。次第に笑顔も消えていった…。

インターンシップ制度とは…大学生などが一定期間企業や官公庁などで研修生として就業を体験する制度。

取材された経験から興味を持つ

愛知学院大学文学部日本文学科に通う中村美王さん20歳。このほどインターンシップ制度を活用して本町役場を訪れ、広報かわねほんちようの取材・編集を体験した。

子どもの頃から国語の授業や本を読むのが大好きだったという美王さん。広報を志望した理由について次のように話してくれた。
「小さい頃、コンクールで賞を取ったことがあって、広報担当の人が取材に来てくれたんです。その時すごくうれしくて。面白そうな仕事だなあと興味を持ち始めました。自宅では、おばあちゃんがよく広報紙を読んでいたんですが、それからはたまに私も読むようになったんですよ。普段読んでいた広

取材・編集通して5時間の作業

この日取材したのは、石ころアートを製作する下泉区の気田一良さん。自宅に伺い、一良さん本人から製作秘話、苦労話、作る喜び、今後の展望など約2時間の話を聞き、体当たりの取材を体験した。その途中では、美王さん自身が作品づくりに挑戦。実際に「やってみる」ことで、作業の細かさや難しさを実感した。
「目の部分がうまく描けないんですよ…」と言いつつ、恐る恐る筆を走らせる美王さん。その様子を、一良さんが楽しそうに見つめていた。

取材を終え、役場に戻る。ここから最も大変な作業だ。メモ帳に書きなぐった内容をパソコンに打ち込み、そこから文章を並べ替えたり、余分な言葉を削ったり。箇条書きを文章化した。悪戦苦闘しながら、パソコンに向かう美王さんの額に汗がにじむ。担当者が「休憩しよう」と投げかけても「大丈夫です」と言い、頑として机から離れない。その背中から、何事にも熱心に取り組みうとする姿勢とやり遂げようとする強い意志が感じられた。

四苦八苦しながら編集した記事ができあがったのは夕方遅く。撮影した写真から紙面にふさわしいものを選び、広報紙編集ソフトに記事と写真を組み込んで「仮の紙面」が完成した。記事の書き始めから約3時間。取材にかけた2時間と合わせて、実に5時間に及ぶ作業の末、ようやく一つの記事が完成した。

画面を確認しながら、安堵のため息を漏らす美王さん。「私が取材した記事が広報かわねほんちようになるなんて…」と感動を隠さなかった。
取材対象者との距離感や親身に話を聞く姿勢など、本職の広報担当者顔負けの仕事をやったのけた美王さん。次のような感想を述べた。

本町出身の大学生がインターンシップ制度を活用して「一日広報担当者」にいつも読んでいた広報かわねほんちようはどのようなように作られているのか、その一端を学んだ取材を通して、「住民と広報の距離感」を肌で感じた様子だ

まちの「物語」を残す仕事



み お
中村美王さん(奥泉出身)
愛知学院大学文学部日本文学科3年

このまち
の物語
【番外編】

カントリーロード

緑のふるさと協力隊員

かんとうみき
神東美希の奮闘記

4

私は9月1日から3日まで「緑のふるさと協力隊の中間研修」に参加するため上京しました。この研修には全国に散らばる同期隊員54人が集まり、前半の活動を振り返りつつ、後半の活動を盛りあるものにするためのヒントを探ります。出されたテーマは「地域に寄り添った活動を目指して」。グループに分かれ、各自の体験談などを交えて話し合いました。私たちの

グループがたどり着いたヒントは「知る&知ってもらう」です。「知る」というのは派遣された町やそこに住む人々のこと。「知ってもらう」というのは協力隊の存在や活動、そして自分自身のことです。「知る」と「知ってもらう」の両者がそろって初めて、地域に寄り添った活動ができるんじゃないか」ということは、私自身も実感しているところです。

私は活動の一環として8月から「ヒトの魅力@かわねほんちよう」という企画を始めています。これは「川根本町のことをもっと知りたい。町を知るにはまず人を知ることだ」という思いから生まれた企画です。皆さんの協力のおかげで、インタビューは順調に進んでいます。

A Country Road

普段の活動では時間や作業に追われ、人とじっくり話す機会というものは意外と少ないものです。しかし、このインタビューでは一対一で時間をかけて話をするので、その人の性格や人生観、町に対する思いがジワジワと伝わってきます。「もつとその人のことを知りたいな、私のことも知ってもらいたいな」と思いを強くするので、インタビュー後の帰り道では、いつもホッとした温かい気持ちに包まれています。同じ時間を共有できたことで目に見えない信頼関係が生まれているような気がします。相手も同じ気持ちを持つてもらえたら、なおうれしいです。来年3月まで、老若男女を問わず、できるだけ多くの人に話を聞きたいと思っています。

本町に来て5カ月目にして初めてホームシックになりました。お盆の時期、家族や友達と一緒にお祭りを楽しんでいる人たちの姿を見ていたら、妙に寂しくなってしまうんです。本町での生活に慣れ、知り合いも増えたとはいえ、家族や昔からの友人の輪の中にはなかなか入っていきません。熱気あふれる祭り会場で一人、疎外感・孤独感を味わっていました。かと言ってすねているわけでも、愛媛に帰りたいわけでもありません。「このホームシックも故郷を離れ本町に來たからこそ味わえるんだ」くらいの前向きな気持ちでやり過ごせるようになってきました。協力隊としての活動も後半戦に入ります。ホームシックなんかにかかっている時間をもつたいたくない。小心者で人見知りの私ですが、なるべくモジモジしたり遠慮したりせずに、できることは全部やるくらいの気持ちでのぞむつもりです。以上、後半戦に向けての決意表明でした。「地域に寄り添う緑のふるさと協力隊・神東美希」を温かく、時に厳しい目で見守っていただければ幸いです。



神東美希(かんとうみき) 愛媛県伊予市出身 緑のふるさと協力隊員第18期生
緑のふるさと協力隊は、特定非営利活動法人地球緑化センターが推進する事業。
農山村に興味を持つ若者を、地方自治体に一年間派遣。隊員として、農業や観光施設などで協力活動をする。美希さんは、本町5代目の隊員。

ブログ「徒然かつこin川根本町」執筆中! <http://katsuko-topparohey.seesaa.net/>

